

ちなちゃん「ひとのこころのふれてはらけなう・・・どうなる？
そのこころ、きづいたら・・・」

すみっこ「いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした」
 ひまわり「はえ、おきやくさんみたいです。ひま。にここ。」

すまいるのごしゅじんさんの、ひまわりっています。」

ひまわり「おきやくさんに、ここがどうゆくとこか、いますね。」

ここは、えと、はえ、なんでしたっけ。」

たしか、そよよがっころってゆ、がっころのなかにある、

けあかへすまいりすまいる、ってゆ、きつちやてんでしたっけ。」

そこにいらっしやる、いろいろなことをかかえてる、おきやくさんたちに、

きつちやてんの、じょうれんさんのひとたちが、いろいろなそうだんをきくとか、

いろいろな、あどばいすをするってゆ、そゆとこだったとおもいます。」

ひまわり「ここで、はなされるいきづらさと、おなじようないきづらさを、おきやくさんが、

かかえることになったときとか、いきっていくうえでの、なやみや、

だれにもいえないことや、かなしみとか、それから、えと、はえ。」

ほかにも、くるしうことや、そんなことをもつときになったときにです。」

そゆとき、ここのおはなしを、ごじぶんのことのようにおもったり、

ここでできたことや、はなされたことをおもいだしてほしです。」

そすること、いまか、いつか、おきやくさんにとって、げんきがでるとか、

はげましになったり、なやみをよくするとか、いきづらさがかるくなるとか、

ほかにも、えがおになるってゆよくに、このきつちやてんできいたことを、

おやくにたててもらえと、うれしくなると、おもってます。」

ひまわり「すまいるにきたことで、みなさんのこころのなかに、なにか、のこって、

おきやくさんがいきていくうえで、すまいるでのおはなが、

おやくにたてればうれしくなると、ひまわりはおもってます。」

よければ、こしぐぬでも、のんでいってください。」

じゃ、はい、こしぐぬです、どうぞ。」

さっくん「いきづらさに、やくにたつことを、スマイルでみつけてほしっておもうんだ。」

まゆゆ「だな。オしたちと、スマイルにやってくる、きやくたちのはなしのなかでだ。」

なすなす「おきやくさんのいきづらさが、すこしでもかるくなれば、うれしいですわあ。」

すみっこ「ひまり、そのコーシーグーナー、しょうみきげんが、いちねんくらいすぎてる。」

ひまわり「はえ？」

[care-cafe : smiley-smile]

「いきたあかしか、いきたいみって、どゆるもので、
どゆるゆるにしてみつけて、のこすんでしょるか？」

[care-cafe : smiley-smile : 01]

すみっこ「そして、べつのひ。

のんびりとすこす、いつもどおりのスマイルのきっさてん。

いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした
 さっくん「あー、いちげんさんだー。いやっはー」

まゆゆゆ「いやはっ。めんどくせえのがきたな。なんだ？」

なずなず「いやっはあ。なにかおはなしですやるかあ？」

すみっこ「ほえくんとした、じよしが、スマイルにやってきた」

じよし「はえ、あの、けあかへ、すまいりすまいるさんって、どこでしょくか？」

さっくん「どこかってゆーより、ここがスマイルだよー」

じよし「はえ、ここでしたか。ごじかんくらい、まよいました」

さっくん「どっひゃー、まよすぎだよー」

じよし「がっごうにきたの、きよしがはじめてなんです」

なずなず「それでまよったんやね。で、なにかおはなしですやるかあ？」

じよし「はい。ここでおはなしをきいてもらえるってきいて、

おはなししたいことがあって、きました」

まゆゆゆ「そうか、ならとりあえず、あだなでもかかんがえとけ。

ここでは、むかしっから、あだなでよびあうことになってんだ

じよし「はい、じゃ、ひまわりってよんでください」

さっくん「ひまーりさん、なんのはなしなのー？」

ひまわり「かたっほのてが、びよきで、すこしうきにくいんです」

まゆゆゆ「ざけんなっ、んなことくらいか。きあいでなんとかしるっ」

さっくん「まーまー、まゆゆゆー」

ひまわり「おいしゃさんとか、まわりのおとなのみなさんは、

きつとよくなるよっていつてくれます」

なずなず「なら、よくなるとおもいますわあ」

まゆゆゆ「そうだ、そういういまだけのことなら、かたほうのてなんていう、

んなこまかいこと、きにすんなっ」

ひまわり「でも、びよーいんのおいしゃさんと、ひまわりのおとろさん、おかろさんが、

ヒソヒソはなしてるのを、こっそりきいたんですけど、

ほんとは、しんごうせうのきんにくのびよきってゆーので、

からだじゅーのきんにくの、ちからがどんどんよわくなってって、

しまいは、ずーっと、ねたきりになるらしくです」

みんな「……っ……」

ひまわり「からだがつぶくいまのうちだ、

いきたあかしか、いきたいみをみつけて、のこしたいんです。

それで、ききたいことなんですが、いきたあかしか、いきたいみって、どうゆうもので、どうゆうふうにしてみつけて、のこすんでしょ〜か〜?」

まゆゆゆ 「んなこと、かんがえたことねえ」

さっくん 「うーっん、さっくんにもわかんないよー」

なずなず 「むずかしいしつもんやわあ」

すみっこ 「いきたあかしや、いみとがどういうものかというのは、

ひとにきくことではなく、じぶんでさがすことだとすみれはおもう。

なぜかというと、いきたいみや、いきたあかしというのがなにかは、

ひとによってちがうから。こどものためだとか、ゆうめいになりたい、

えらくなる、とくべつなひととすすじかん。いみをかんじることや、

のこしたいことというのは、いろいろ、ひとによってちがうとおもうよ。

だから、そのことは、じぶんでさがすことがひつようなんだよ。

でも、みつけかたについては、ひまりさんを、たすけたいとおもうよ」

まゆゆゆ 「だな。さがすてったいはすっぞ」

さっくん 「ほんとはねー。じぶんでさがすことだねー」

なずなず 「ひまありさんが、いままでいきてきたなかで、

だいじにしてきたことって、なんなんですよやるかあ?」

ひま〜り 「はえ〜、おと〜さんと、おか〜さんに、

よろこんでもらえるようにすることです〜」

すみっこ 「そこに、かぎがあるかもしれない」

さっくん 「なら、おと〜さん、おか〜さんによるこんでもらえることに、

じかんをつかうのが、ただしーとおもうよー」

まゆゆゆ 「だな、オレもそうおもうぞ」

ひま〜り 「はえ〜、おしえてもらったことと、ちがうことってごめんさい〜。

おと〜さん、おか〜さんは、ひま〜りに、のこりのじんせ〜を、

せ〜いっばい、いきてほし〜みたいで、

そ〜するのがよろこんでもらえるみたいです〜」

なずなず 「なら、せえいっばい、いきることやわ。それが、ひまありさんのためにも、

だいじにおもてはる、ごりよおしんのためにもなるとおもうでえ」

ひま〜り 「そ〜ですか〜、そ〜ですな〜、そ〜します〜」

さっくん 「ひま〜りさんが、びょ〜きが、じつはおもいってことをしってるってこと、

ひま〜りさんの、おやごさんは、きづいてるのー?」

ひま〜り 「きづいていないみたいです〜」。

きつとよくなるからねって、りはびりのときにいつももらって、

はげましてもらってて、ひまわりも、おとくさん、おかくさんのまえで、
びよ〜きがおもいことに、きづいていないふりをしてます」

すみっこ 「ひまわりさんも、おやごさんも、おたがいのために、
ほんとうのことを、しらないふりをしてるんだね」

なすなす 「なすなすたちがいのひとは、ひまありさんのびよおきのこと、しら入んのやね」
ひま〜り 「はい、そうです」

さっくん 「だれにもいえないのって、くるしーよねー」

ひま〜り 「はい、そうです」

まゆゆゆ 「なるほど。。。で、せいっぱいいきる、か。

なにかがのこることで、なにをせいっぱいするか、だな」

みんな 「。。。うーん。。。」

なすなす 「すみっこちゃん、かんがえがいきづまったし、

きぶんをかえるのに、コーシーグーヌーもらってええかな？」

すみっこ 「うん。ごそごそ。はい」

さっくん 「さっくんももらうねー。ごくごく。すみっこのコーシーグーヌー、おいしーな」

ひま〜り 「はえ、すみっこさん、すまいるさんのごしゅじんさんなんですね」

まゆゆゆ 「しゅじんというより、スマイルのてっだいがかりだ」

なすなす 「むかしのしゅじんのひとが、もおそつぎようして、いいひんねん」

さっくん 「すみっこのほかの、いまここにいるひとたちは、

みんな、スマイルのじょーれんの、おきやくさんだよー」

ひま〜り 「はえ。。。」

すみっこ 「りょうり、そうじ、せんたく、かたづけ、なんでもするよ」

さっくん 「ひま〜りさんも、コーシーグーヌーのんでよー」

ひま〜り 「はい、いただきます。ごきゅごきゅ。。。がはっがはっ、げはっげはっ」

なすなす 「だいじょおぶうっ？」

すみっこ 「ごめん、おいしくなかった？」

まゆゆゆ 「つかしいな。スマイルのコーシーグーヌーは、

そうようのめいぶつになるくらい、うまいはずなんだが」

ひま〜り 「はえ、ひま〜り、のどのきんにくがすでによわってて、

それでもせたみたいですよ」

まゆゆゆ 「わりい、きづかなかった」

すみっこ 「ごめんね」

なすなす 「そうやったんやあ、むせたんかあ」

さっくん 「よけーなものすすめたみたいー、ごめんー」

ひまわり 「はえ・・・。」

すまいるさんのごしゅじんさんを、やりたいです。

すまいるさんのみなさんに、いろいろたすけてもらえて、

すまいるさんって、すてきなことだっておもったんです。

すまいるさんにくる、いろいろなひとはなしをきいて、ちからになって、

いろいろなひとたちのところに、なにかをのこすことをしたいです。

すまいるさんで、ひまわりがびよ〜きでも、

なにかをやりとげられるっておもいたくて・・・。

すまいるさんのごしゅじんさんになるの、だから、ぜひしたいです。

でも・・・びよ〜きの、ひまわりなんかに、できるでしょ〜か？」

まゆゆ 「おおバカおんなかテメーはっ！だれだっははじめは、じしんなんてねえんだぞっ！

じしんなんていうのは、つみかさねていくもんだっ！

さいしよはむりだとおもっても、やってみればしぜんとついてくんだっ！

オレだって、とくしゅがつきゅうにかようことになったときに、

さいしよ、さんざんじしんをなくしたんだぞっ！

だがいま、けんどうをやって、べんきようもひっしになってやって、

・・・それでいまなんとかなってんだっ！」

さっくん 「きよーの、まゆゆは、よりいっそーあついなー」

なずなず 「まゆゆくんのゆうとおり、じしんはあとからついてくるとおもうでえ」

さっくん 「がんばるほーが、なにもしないでいるより、よっぼどいーことだよー」

すみっこ 「ひまりさんは、のこしたいことというのをみつけたんだ。

くるしいかもしれないけれど、やりとげてほしい」

ひまわり 「はえ・・・。」

・・・、

・・・、

・・・やります」

なずなず 「よかったわあ。ええことやでえ」

さっくん 「そっかー、いっしよにがんばるーっ」

まゆゆ 「すきにしろ、テメーがえらんだことだる」

すみっこ 「うれしい、げんきになってもらえて」

ひまわり 「はい、みなさんといっしよに、がんばります〜」

さっくん 「ひまーりちゃん、りょーりって、どれくらいできるのー？」

ひまわり 「はえ〜、ず〜っとまえに、ちよ〜りじっしゅ〜でしました〜。

そのほかには、したことはないです〜」

まゆゆゆ 「んなもん、すこしずつおぼえてけ」

なずなず 「レンジで、れえとおタイヤキを、かいとおするくらいからはじめてみいやあ」

さつくん 「そーだよー、タイヤキたのしみー」

ひま〜り 「はえ〜、れんじって、つかったことはないです〜」

なずなず 「えっ、めずらしっ」

まゆゆゆ 「なら、かんたんにつくれるラーメンつくるくらいでもいいぞ」

ひま〜り 「はえ〜、そ〜ゆ〜のもの、つくったことはないです〜」

すみっこ 「コーシーグーヌーのつくりかた、おしえるよ」

ひま〜り 「はえ〜、こ〜し〜をつくったこともありません〜」

まゆゆゆ 「おいおいっ」

さつくん 「ちょーりじっしゅーができるなら、それでおげだよー」

ひま〜り 「はえ〜、むかし、ちょ〜りじっしゅ〜のときに、

ひま〜りのつくった、おりよ〜りで〜、

がっこ〜じゅ〜の、みなさんぜ〜いんが、しよくちゅ〜どくになりました〜」

みんな 「まじかよっ!」

ひま〜り 「ひま〜り、がんばります〜」

みんな 「がんばるのはいいけど、だいじょうぶなのかよ、このこほっ!」

すみっこ 「そして、〜っのび。

いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした」

ひま〜り 「はえ〜、あの〜、けあかへ、すまいりすまいるさんって、どこでしょうか〜?」

さつくん 「ここだよーって、あれー、ひま〜りちゃんー?」

ひま〜り 「はえ〜、ここでしたか〜。ななじかんくらい、まよいました〜」

みんな 「って、もうわすれたんかーいっ」

[care-cafe : smiley-smile : 01]

「だれだってはじめは、じしんなんてねえんだぞっ!

じしんなんていうのは、つみかさねていくもんだっ!

さいしよほむりだとおもってても、やってみればしぜんといってくんだっ!」

「うみをかんじるとちや、のこしたらんこととらんのほ、

いるいる、ひとたよってちがうとおおもつゆ。

だから、そのことは、じぶんでせかすこととがひつみうなんだよ」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「なすなななすさんに、りんごさんをむいてあげます」

なすなす 「ひまありちゃん、ありがとうおやでえ」

ひまわり 「しゃりしゃりしゃり・・・あ」

まゆゆゆ 「どした？ゆびでもきったか？だいじょぶか？」

ひまわり 「まちがえて、たねをむいてとってしまいました」

すみっこ 「ふつう、とる」

さっくん 「どひゃひゃひゃひゃ、ほんとほタネごと、たべさせるつもりだったんかーい」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「あの、このまえ、がっこうの、ものかげをあるいてたんですが、

なぜか、みどりいろのえきたいがたくさんおちてたんです。

あれ、なんだったんですかね？」

すみっこ 「それ、せいとかいちちょうの」

すみっこ 「そして、べつのひ」

なすなす 「はえ、しゅっぱんさしどめになるよくなことしましよるか？」

さっくん 「あのー、ひょーげんのじゅーは？」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「できました、ひまりすべしやるいちごです。

かえるさんのひものをつかった、おりよりをつくりました」

なすなす 「わあ、たのしみい、って、え・・・カエル？」

まゆゆゆ 「おい、これ、トカゲのえさか？」

さっくん 「どひゃひゃ、なまなましくて、おしよくじどきには、みたくないな」

すみっこ 「ここ、モザイクかけといて」

ひまわり 「いちやぼしです。うん、おいしそで、よだれがでます」

みんな 「どういうみかくと、びてきかんかくしてんだっ？！」

すみっこ 「なんていうなまえの、りょうりなの？」

ひまわり 「はい、むげざっぱです」

みんな 「なんともあやしいなまえだっ！」

さっくん「あいてのひととおなじふうになったことのない、さっくんたちが、
いちばんさんだーるーるーって、そんなの・・・許されるの？」

「わたしたち・・・子どもができて・・・」

[care-cafe : smiley-smile : 02]

すみっこ 「いまはのどかな、ひるさがりの、スマイル」

さっくん 「そとはあったかいけど、きょうもタイヤキが、

かいとーしきってなくてカチカチだなー」

まゆゆゆ 「このタコヤキも、レンジであっためたはずなのに、まだそうとう、こおってっぞ
なすなす 「なすなすのコーシーグーヌーも、こおってるわあ」

さっくん 「どうやってコーシーグーヌーを、こおらすんだか。どひゃひゃひゃひゃ

ひまより 「はえ〜？」

あゝ、だれかおみえになりました。ひま。にこにこ」

じよし 「ひまです」

だんし 「こんにちは。ひま」

ひまより 「ねむたそ〜ですネ、ねむたいさん〜。

ごむたそ〜ですネ、ごむたいさん〜」

すみっこ 「ねむたいさんは、ねむたそうなおとこのひとで、
ごむたいさんは、おとなしそうなおんなのひと」

まゆゆゆ 「おいひま、ごむたそうって、

なんかぶんぼうじょう、むりがあることば、つかってっぞ」

さっくん 「カップルさんですかニヤー？」

まゆゆゆ 「あんま、んなこと、うれしそうにきくな

ねむたい 「そうだよ」

ごむたい 「そうです」

ひまより 「まは、こ〜し〜ぐ〜ぬ〜でも〜。ど〜ぞ〜」

ねむたい 「ぐびぐび。おいしい」

ごむたい 「ごくごく。あまいですね」

すみっこ 「どっちもはずれだったもよう」

さっくん 「こおってなかったかー。して、ほんじつはどんなことですかニヤー？」

なすなす 「なんか、しんこくそおやねえ」

ごむたい 「まあその・・・」

ねむたい 「うん・・・」

さっくん 「ニヤハハハハハ」

まゆゆゆ 「おいこらさくつ、はじめはなし、すっみてえなときにつ」

すみっこ 「さくらのすきそうはなし」

ごむたい 「わたしたち・・・こどもができて・・・」

さっくん 「どっひゃー、オギヤーができた、オギヤーができた、めでたー……………いっ

まゆゆゆ 「おいっ、ぜんぜんめでたくねえぞっ」

さっくん 「えー、なんでー？」

ひまわり 「はえ〜？」

なすなす 「おふたりとも、なすなすたちとほとんど、としがかわらんみたいやのに、
こどもができるとなるとなあ」

さっくん 「オギヤーができたんだよー、めでたいよー。こだからにめぐまれたんだよー」

まゆゆゆ 「どうやってそだてるつもりだっ。このおおきさ、わかってねえだろっ」

さっくん 「えー、うーんー、そりゃー、ぼにゅーをあげてー、がっこーいかしてー」

まゆゆゆ 「オメーはもういい。で、アンタら、おるすかどうかでなやんでやがんだな？」

ねむたい 「うっ」

ごむたい 「そうです」

なすなす 「おふたりのかんがえとしては、どおなん？」

ねむたい 「ぼくとしては、おるしたほうがいいかなって」

ごむたい 「いやっ、あたしはそんなのいや、ぜったいうむっ」

なすなす 「おふたりのかんがえが、べつべつなんやねえ」

まゆゆゆ 「たちわりいな。で、なんでふたりはそういうふうにかんがえてんだ？」

ねむたい 「やっぱり、そだてるのがたいへんで、ふたりのしょうらいをかんがえると、

おるすのがいぢばんいいかなっておもうんだ」

ごむたい 「わたしは、すきなひとのこどもをおるすなんて、ぜったいいやです。

もう、いのちをもつてるこどもなのに・・・うっ・・・」

ひまわり 「はなしが、ひーとあつぶしてきたからか、こおってた、たいやきがとけてます」

さっくん 「なんか、どういうはなししてるのか、よくわかんないけど、

ぱくぱく。おいしいね、タイヤキ。まゆゆゆもタコヤキたべたら？」

まゆゆゆ 「ガキは、だあってる。」

にしても、ふざけたおとこだな。テメー、それでもおとこだか？」

ねむたい 「げんじつてきにかんがえると、しょうがないよ」

まゆゆゆ 「ざけんなっ、テメーがつくりたくてかかってにつくったガキだろっ！

やりたいことやっというて、せきにんとれねえなんていうなっ！

おしはテメーみてえな、せきにんとれもしねえことをするやつと、

せきにんのがれをするやつが、でえっっっつきれえなんだっ！

おとこだったらせきにんとれっ！ふたりのしょうらいっていうが、

はらんなかにできてるガキのしょうらいを、ちっとはかんがえやがれっ！」

ねむたい 「う・・・」

ごむたい 「ひっく・・・ひっく・・・」

さっくん 「うーん、きょーのまゆゆゆは、いちだんとあついなー」

なすなす 「まゆゆゆくん、こんかいのおはなしは、かなりおもしろいことみたいやし、

けつろんはださずに、もんだいのせえりだけにしとおやあ」

まゆゆゆ 「そうか？なら、このせんいんのかんがえをきいとくか。

みんな、うむかうまかないか、どっちにすべきだとおもっ？」

さっくん 「そりゃー、うむべきだよー。せっかくできたんだしー。」

よのなかには、オギヤアがほしくても、できないひともいるんだよー」

ひまわり 「はええ。よくわかんないですけど、あかちゃんがかわいそうですし、

いのちをうばうのは、やめとくのがいくかなうって、ひまわりはおもいます」

まゆゆゆ 「うめ。りゆうはさっきいった」

すみっこ 「ねむたいさんのいうとおり、げんじつてきにかんがえるべき。

うんでも、おやも、こどもも、そのかぞくも、みんなふこうになるだけ」

なすなす 「ううん、おふたりがおすんのか、よおわからのやけど、

なすなすがおなじたちばやったら、おろすかなあ」

まゆゆゆ 「だよ」

すみっこ 「せきにんるんをいってもしかたない。

そして、これからどうするかをかんがえたとき、

いちばんメリットがおおきくて、デメリットがすくないのが、

だたいさせることだとおもっ。

ただし、おんなのひとへの、きもちとからだのくるしさは、

はかりしれないことになる」

ひまわり 「ひまわりが、まえに、どきゅめんたりくえくがで、

びょういんでの、だたいのしゅんをみたことがあるんです。

こんなめにあうなら、こどもができるようなことを、

かんたんにしちやいけいなんだなうっておもいました。

ほんとうに、おんなのひとは、こころもからだも、

すみっこのさんのゆくとわり、すぐきずつくとおもいます。

たぶん、うまれてこなかったこどものことで、いっしょくくるしみつづけます」

みんな 「……」

まゆゆゆ 「つぎはやがってっ！それでも、おとこはいるいろしたがりやがんだっ！」

すみっこ 「それと、もういってもしかたないことだけど、

どれだけのこどもができないようにきをつかって、できるときにはできる。

せったいとうみたくないなら……できるようなことをしないっていうことだけ。

そういうものなんだって、みんなにおぼえておいてもらいたいなうっておもっんだ」

なすなす 「そうやね、きいつけななあ。なすなすの、だいがくいんせえの、おとこさんが、

「まずなずに、ゆびいっぽんふれへんのも、きつと、そおゆうかんけえなんやわあ」
ひまくり「はえ、まずなずさんのおとこさん、りっぱなおとなです」
さっくん「せけんでは、よくおるすおるすってゆーよねー」

まゆゆゆ「まわりがどうかなんてかんけいねえ。じぶんがどうおもうかだ」

すみっこ「まわりにながされてこいびとをつくって、まわりにながされてごどもをつくって、まわりにながされてごどもをおるしていく。そういうのが、いまっていうもの」
なずなず「わかいひとにかぎらず、そおゆうけえこおにあるやんね」

まゆゆゆ「つぎけてんな、どいつもこいつも」

なずなず「おるすってかるくいうけどやで・・・きついいかたになったらごめん」。

つまり、にんげん・・・じぶんのこどものいのちをうばうってゆう、
ごどもをつくって、おるすっていうのは、そおゆうせんたくをすることやねんで。
そのことを、おふたりにはしつといてほしいです」

ひまくり「あかちゃんのこと、おもいきりだきしめてあげてほしくです」。

そくすれば、うんでよかったなうって、おもえるとおもいます」

すみっこ「ここにいる、みんなからいえることとしては、そんなとこかな」

まゆゆゆ「だな」

さっくん「そーゆーことらしーよー」

ねむたい「わかった。みんな、ありがとう」。

じゃあ、できるだけうんで、そだてていけるようにやってみる」

ごむたい「・・・うつつ・・・うう・・・ありがとう、あきくん・・・」

まゆゆゆ「それでこそ、おとこつてもんだ」

なずなず「けつろんとまではいかないけど、いいほうこつにはもっていったみたいやねえ」

ひまくり「おふたりさん、またきてくださいね」。ここにこ」

すみっこ「しんみりとスマイルからかえっていくふたり」

さっくん「あー、きょーも、すくえなかつたなー」

すみっこ「じょげんはできたし、それでじゅうぶんだとおもう」

さっくん「そっかー。ならよかつたよかつたー」

なずなず「できるかぎりのことはできたでえ」

まゆゆゆ「ああ、さいぜんはつくした」

さっくん「みんなー、さつき、こおつてたのたべよー。もうとけるよー」

なずなず「ごくごく。ふくざつなきもちやけど、コーシーグーヌー、なんだかおいしい」

まゆゆゆ「がつがつ。まあ、おもつてたより、そんなわるくないあじのタコヤキだな」

ひまわり「はえ〜、さっきまでこおってた、こらりもどろぞろ」

さっくん「おーするに、ただのみずってゆーんとちゃうんかーいー」

すみっこ「そっつ、ぐっのわ」

ちっくん「あのふたり・・・ちゅっせつしたんだって」

井ゆゆゆ「っれけやがってーっくそがっー」

[care-cafe : smile-smile : 02]

「おんなのひとくの、きもちとかからだのくるじさは、はかりしれないことになる」

「ほんと〜だ、おんなのひとが、こころもからだも、すぐくみずっくとおもいます〜。

たぶん、っまれてこなかったこどものことば、らっじょ〜くるじみっつけます〜」

「っまり、たんげんの・・・じぶんのこどもものいのちをっほっつてあげ、

こどもをつくって、おろすっつてらうのは、そおゆっせんたくをすることやねんど」

「どれだけこどもができないやっつにきをつかっても、できるときにはできる。

ぜったいうみたくないなら・・・できるやっつなことをしなっつてらうっつことだけ」

「あかちゃんのこと、おもいきりだきしめてあげてほっす〜。

そっすれば、うんでよかったなっつて、おもえるとおもいます〜」

すみっこ「そして、べつのひ。」

さくらのあたまのなかのかがえごとのわりあいは、

ソフトボールごじゅっパーセント、タイヤキごじゅっパーセント

まゆゆゆ「しつれいなはなしだけど、たしかにそうだろう」

さっくん「どひゃひゃひゃひゃ、そんなことないってー」

なずなず「そおそお、さっくんちゃんにしつれえやおもうでえ」

さっくん「せーかくには、タイヤキが、はちじゅーきゅーパーセントだよー」

みんな「そういうわりあいかっ!?!」

すみっこ「そして、べつのひ。」

さくらはおそろく、ソフトボールしながらでもタイヤキくってる

まゆゆゆ「しつれいなはなしだけど、たしかにそうだろう」

さっくん「どひゃひゃひゃひゃ、そんなことないってー」

なずなず「そおそお、さっくんちゃんにしつれえやおもうでえ」

さっくん「せーかくには、タイヤキやきながらだよー」

みんな「どういうやりかただっ!?!」

すみっこ「そして、べつのひ」

なずなず「いま、そおよおがっこおのなかで、コシアンルーレットっていう、

たのしいことが、はやってるらしいでえ」

まゆゆゆ「んだそりゃ」

ひまわり「はえ〜」

なずなず「コシアンのはいつてる、おまんじゅうをあてるみたいやわあ」

さっくん「なるほどー、それなら、あたっても、はずれても、

だれもいやなめにあわずにすむねー」

なずなず「てんこおせえの、おんなのこが、かんがえたんやってえ」

ひまわり「じゃ〜、さっそく、すまいるでもやりましょ〜か〜」

さっくん「どーやるのー?」

ひまわり「ひまわりのつくった、こ〜し〜まんじゅ〜をあてるっていう、たのし〜ことを〜」

みんな「それだと、ロシアンのほうとかわんないぞっ!」

ひまわり「たのし〜です〜」

みんな「たのしいの、アンタただだよっ!」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「あの、こゝしゝぐゝぬゝって、なんなんでしょうか？」

なずなず 「えっ、それもしらずにつくってたんっ?!」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅう。」

コーシーとグーヌーに、さとうをませたもの。モリをしないひとがのむんだ。そうようがっこうの、めいぶつだよ

ひまわり 「はえ、ひまわり、もっといるんなざいりよゝを、ませつつくってました」

みんな 「どんなとんでもないざいりようがまざってたか、かんがえたくないっ!」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「できました。ひまりすぺしやるにごゝです」

なずなず 「ねえ、ひまありちゃん。さきにきいときたいねんけど、

このおにく、なんのおにくなん？」

ひまわり 「しよくどゝがえるです」

さつくん 「しよくよーがえるか」

まゆゆゆ 「いちおう、くえるくいもんだぞ。げてものとはいえ、もらう。がつがつ。

みんな、しよくようがえるぐらいだと、もうおどろかねえか。がつがつ

ひまわり 「しよくどゝさんから、もってきました」

なずなず 「しよく、ど、お。なん？しよく、よ、お。なんとちゃうん？」

まゆゆゆ 「よ、とちがって、ど、ってことか」

さつくん 「いやなよかんがー」

ひまわり 「しよくどゝさんのあたりにいた、かえるさんを、ほかくしてきました」

すみっこ 「しよくようとちがういきものを、ざいりようにしてるよ」

まゆゆゆ 「おいっ、オレ、もうくっちまったぞっ」

ひまわり 「ほかくよゝのえさとして、はえゝさんをつかいました」

まゆゆゆ 「エサのハエごと、オレのはらのなかにかよっ!？」

すみっこ 「いまのきせつ、カエルはもういないはず」

ひまわり 「はい、まえにとったのを、

ひものにしておいたので、くさってはいないとおもいます」

みんな 「むちゃは、ぜいほどほどになっ!」

まゆゆゆ 「すでにくった、オレのみにもなれ————っ!」

さっくん「ねえ、うまれてきたのって・・・意味をなにももたずに？」

「それまでに、きもちをつたえたいです」

[care-cafe : smiley-smile : 03]

すみっこ 「きょうはなんだかいいてんき。でも、ひるから、くもるらしいひのスマイル」
なずなず 「きょうはゆうがたくらいから、あめらしいでえ」

さっくん 「いまのうちに、ソフトボールのれんしゅーしにいこっかなー」

まゆゆゆ 「ゆうがたから、ふるのか」

ひまより 「はれてるの、いまだけですか」。

すみっこ 「あ、おきやくさんです。ひま。にここにこ」

すみっこ 「はじめそうなじよしが、スマイルにやってきた」

じよし 「ひまです。はるさめのおりょうり、もらっていいですか？」

ひまより 「わかりました」

まゆゆゆ 「ひまっ。んだ、くいにきただけか？」

さっくん 「ひまー。はるさめおいしーよねー」

ひまより 「できました、はるさめのらゝめんです」

すみっこ 「どうみても、ざるそばにしかみえないものをてわたし、ひまり

なずなず 「ひまありちゃん、ちゃんとレシピみたんかあ」

ひまより 「はえ〜？」

じよし 「できればカロリーのすくないりょうりがいいです」

すみっこ 「どんまに」

ひまより 「ざるそばさん、とんこつすゝぶをのこすといいですよ」。

「かろりゝひかえめになります」

まゆゆゆ 「ひまはさっき、どうみてもカツオのほねでだしをとってたぞ」

ひまより 「はえ〜？」

ざるそば 「あ……えと……」。

「……どうすればダイエットできますか？」

なずなず 「そやなあ、うんどおと、むだなものをたべへんことが、だいじやるかあ」

まゆゆゆ 「んだ、んなくだらねえことでなやんでやがんのか？」

さっくん 「ぶつー、たいじゅーを、きにするよー」

なずなず 「ぶつうはなあ」

すみっこ 「わかいいよせいなの、やせがんぼっ」

ひまより 「はえ〜？」

まゆゆゆ 「にくのついてるほうが、このみだっておとこはおおいぞ」

さっくん 「まゆゆゆ、だまったらんかーいー」

なずなず 「まゆゆゆくんは、わかってへんなあ」

すみっこ 「にぶに」

ひまより 「はえ〜、ちゃ〜しゅ〜、おいし〜です」

なすなす 「ひまありちゃんも、わかってへんなあ」

すみっこ 「じつはけっこう、きょうれつなこといってる、ひまり」

ひまより 「はえ〜?」

ぎるそば 「たいじゅうのせいで、こころのなかで、おもってるひと・・・、

きもちをいおうって、おもえないんです」

なすなす 「そおなんやあ、それってくるしいやんなあ」

まゆゆゆ 「それは、ふとってるっていうのと、かんけいねえんじゃねえか?」

さっくん 「まゆゆゆはだまつとらんかーいー。なんどもいわせなさんなー」

すみっこ 「とりあえず、まゆみのくちにガムテープはっとく。ベタベタベタ」

まゆゆゆ 「もがーもがー、もががががっ!」

さっくん 「やっただまつたかー」

ひまより 「はえ〜。すみっこさっくん、はなまでふさいでますよ〜」

さっくん 「どっひゃー。ペリペリペリ。はい、はなだけはあけましたー」

すみっこ 「ごめん、やりすぎた」

さっくん 「きょーれつだなー」

なすなす 「いきだけは、できるよおにしとこやあ」

すみっこ 「あばれてるし、いちおう、はしらにしはっとく。ぎゅっううううう」

さっくん 「もはや、ごーもんだなー」

ぎるそば 「きやすめとか、なぐさめとか、はげましとちがって、

どうすればほんとうにやせるか、しりたいんです」

さっくん 「それなら、なすなすのゆーとーり、うんどーがだいじかなー」

すみっこ 「それと、ごはんをちゃんとたべたほうが、

からだにもいいし、げんきにやせられる」

なすなす 「すみっこちゃんのいうとおりやでえ。ごはんはちゃんとたべるべきやわあ」

すみっこ 「はるさめは、カロリーはひくいしそれもわるくない。

けど、けんこうのためにバランスのいいしよくじをして、

やさいと、にくも、ほかにもちゃんとたべて。

もちろん、パンやごはんなんかの、たんすいかぶつも」

ぎるそば 「そんなことして、ふとりませんか?」

すみっこ 「からだをこわすのよりかは、まし。それに、リバウンドも、しにくくなるよ」

なすなす 「そですわあ。すこしのあいだけやせられても、

リバウンドすると、いみがあらへんかなとおもいます」

ぎるそば 「あたしのおもってるひとが、もうすぐ、とおくにてんこうするんです。

それまでに、きもちをつたえたいです」

さっくん 「そんなじょーがー」

すみっこ 「くるしいね」

なすなす 「はなしがむずかしくなったわあ」

ひまわり 「はえ〜。れんあいえ〜がみたいな、しちゅえ〜しょんです〜」

さっくん 「どーすればいいかなー。うーんー、うーんー、うーんー」

すみっこ 「みじかいあいだに、いきなりやせると、かなりからだにわるいよ」

ざるそば 「からだがわるくなるとしても、はやくやせたいです」

さっくん 「そこまでつよくおもってるのかー」

すみっこ 「こいのやまい」

なすなす 「ううん、おもいつきりなくことも、ばあいによっては、だいじやるかなあ」

ざるそば 「そんなのいやです」

ひまわり 「はえ〜、まゆゆゆゆゆさんが、ちあの〜せになつてます〜」

なすなす 「まゆゆゆくん、たしか、アレルギーせえびえんやったはずっ」

すみっこ 「ごめん。くちにはつてあるのもはがすね。ベリベリベリ」

まゆゆゆ 「ぜーぜーぜー。おいこらっ、さんずのかわに、かたあしっつこんだぞっ」

すみっこ 「みんなのいけんがつきたし、きく。まゆみは、どうおもっ？」

さっくん 「いちおー、おとごころもきいとくねー」

まゆゆゆ 「いきがでなかつたが、はなしをきいてた。

いっとくが、オレからいわせりや、きもちをつげられて、わるいきはしねえぞ」

さっくん 「へー、いわれたことあるのかー」

まゆゆゆ 「オメー、ひとをなんだとおもってやあんだ」

さっくん 「どんまいー」

まゆゆゆ 「にんげんのはんぶんは、おとこだぞ。それと、いまがすべてとおもうな。

それとな、とくにアンタのみためがわるいようにはみえねえぞ」

なすなす 「いまおもっているひとのほかにも、いいひとは、たくさんいるってことやんねえ」

さっくん 「そーだねー。まゆゆゆのゆーとーりだよー。ざるそばさんのみため、いーよー。

ちゃんとした、びじんにみえるからだつきだよー」

すみっこ 「なぐさめでもなんでもなく、みためはいいほうだとおもうよ」

ざるそば 「こんなにひとをつよくおもったの、はじめてなんです」

なすなす 「それは、まいかい、こういをもつたびにかんじることやおもっでえ」

さっくん 「そーなのかー」

ひまわり 「はえ〜?」

さっくん 「こんかいも、けつるんはだせそーにないねー。

みんな、けんこーをとるか、いまのこいか、どっちをとるべきかなー?」

すみっこ 「いまのこいをとるのをすすめるひと、てをあげて」

さっくん 「はーい」

すみっこ 「はい」

なずなず 「はあー」

すみっこ 「じゃ、けんこうをとるひと」

まゆゆゆ 「はい。とうぜんこっちだ。からだじゅうしばられてて、てをあげられねえが」

ひまわり 「はええ。ひまわりはどっちともいえないです」

さっくん 「わかれたなー。でもおとこだけ、けんこうをとったなー」

ひまわり 「はええ。ざるそばさんがおもいをつけたいなら、

ざるそばさんのなかではこたえはきまっていますし、こゝかいしないよゝに、やれるだけのことをやって、ゆゝことをゆゝのがいゝんじゃないでしょゝか。れんあいのことは、れんあいえゝがみたくらいしかわからないんですが、

あとで、こゝかいだけはしたくないです」

まゆゆゆ 「そっつかんがえか」

なずなず 「そやなあ、やりたいことのこたえはもう、

ざるそばさんのなかで、きまってるもんなあ」

すみっこ 「それもせいしゅん」

ひまわり 「ひまわりなら、けっかはどゝであれ、ゆゝことをちゃんといゝます」

さっくん 「そだねー、ざるそばさんは、どうおもつ？」

ざるそば 「そうですね。たいけいはどうあれ、

ちゃんときもちはずげたほうがいいとおもいました」

すみっこ 「こたえはかわってない。でも、きもちはかたまつた」

さっくん 「せーしゅんは、いちどきりだよー」

ひまわり 「ひまわりとちがつて、せもたかいですし、いまでもとつてもきれゝです」

ざるそば 「ありがとうございます。じゃあ、ゆづきをだして试试看みます。

それと、うんどうをがんばります」

すみっこ 「うんどうしてほしい。でも、くれぐれも、むりしないで」

なずなず 「ごはん、ちゃんとたべてください」

すみっこ 「おちついてスマイルからかえっていく、ざるそば」

さっくん 「きょーは、ちよつとはちからになれたかなー」

なずなず 「ゆづきをもってもらえただけでも、よかったんやわあ」

ひまわり 「はええ」

すみっこ 「むりしないことをねがいたい」

さっくん 「ざるそばさんはけっきよく、せなかをおしてほしかっただけだったのかもねー」

ひまわり「ひまわりからみて、ざるそばさん、ほそくながいひとにみえてました」

まゆゆゆ「ところで、オレのからだの、ほそくながいなわをほどけっ」

さっくん「どんまいー」

まゆゆゆ「なにが、どんまいーだっ」

ひまわり「はえ、こっちのほそくながいのをわすれてました」。

ぎょうろろ「はえ、ちゃくしゅくみたいになって、ほどけないです」

すみっこ「もがいてたせいで、もっと、しぼりがきつくなくなっていつてる」

さっくん「ちなみに、すみっこは、きんばくどうの、ごだんだよー」

まゆゆゆ「ごだんっておいっ、しゃれになっってねえぞっ。

オレ、ちゃんといえにかえれんのかよっ」

なすなす「なすなすも、もっとやせたいわあ。ダイエットせななあ」

すみっこ「どれだけおもいどおりになったとしても・・・、

みたされるようには、なれずにいるまま」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてるー」

ひまわり「はえ。らぶれたっですか」

さっくん「なになた・・・。

えんきよりれんあいで、おつきあいすることになりました。ざるそばより」

みんな「よかったあー」

[care-cafe : smiley-smile : 03]

「ひまわりのためにバランスのうさじょうぐをついて、

「やせろ」にくも、ほかにもちゃんとたべて。

もちろん、パンやごはんなんかの、たんすいかぶつも」

「オレからいわせりゃ、きもちをつげられて、わるいきはしねえぞ」

「こゝかいしないよーに、やれるだけのことをやって、

ゆることをゆるのがいっんじゃないでしょーか」

すみっこ 「そして、べつのひ」

まゆゆゆ 「あ、むしがとんでる」

すみっこ 「とる。まかせて。えいっえいっ、やあっ」

なずなず 「ううん、なかなかとれへんなあ。スマイルは、ごはんたべるとこやのにい」

さっくん 「ねえ、ひまーりー。あのとんでるの、なんだとおもうー？」

ひまーり 「はえ〜？」

さっくん 「どひゃひゃひゃひゃ。はやさ、はやいとおもうー？」

ひまーり 「はえ〜？」

まゆゆゆ 「おいっ、あんま、ひまであそんでやるなっ」

なずなず 「むしをやっつけるスプレーでもあればなあ」

すみっこ 「おくので。シューーーーーー。ぽとっ」

ひまーり 「わゝ、たいじできましたゝ」

まゆゆゆ 「なんかいま、くちから、きりがでてきたぞ」

すみっこ 「そして、べつのひ」

なずなず 「ひまありちゃんのすきなたべものってなんなんん？」

ひまーり 「しょゆとんこつですゝ」

さっくん 「タイヤキもいーけど、しょーゆいりのとんこつラーメン、

おいしーよねー、ごくり」

まゆゆゆ 「オしも、うまいとおもうぞ」

すみっこ 「えいようたつぷり。かつおいしい」

ひまーり 「いつも、ほねをすりつぶしてごはんにかけてましたゝ」

みんな 「そっちを、そういうくいかたしてんのかっ?!」

ひまーり 「ほねごと、ぼりぼりたべてもいましたゝ」

みんな 「って、イヌですかいなっ!?!」

すみっこ 「そして、べつのひ。すみっこのまめちしきしゅう。

そうようのせいふくがかわいいと、あちこちでひょうばんになってる」

まゆゆゆ 「おとこのは、ひでえぞ。けんどうぎのぼうが、よっぼどました」

さっくん 「じょしの、かわいーよねー。さっくんも、みんなも、きにいつてるよー」

なずなず 「このせえふく、まえからきたかったんやわあ」

ひまーり 「ひまーり、ぶちよーさんもでるもゝ、すてきだとおもいますゝ」

みんな「って、ひまりって、どういうかんかくしてんだかっ!？」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「できました、ひまりすべしやるさんごす」

さっくん「やたらめったらおおきいカンのいれものに、サバカンてかいてあるよー」

まゆゆゆ「おもいきり、ふたがあいた、ただのでかいサバのかんづめだけだぞ。

いや、むしろそのほうがいいか。でかすぎなのがきになっが」

なすなす「まゆゆゆくん、おためしかり、よろしく」

まゆゆゆ「またオレかよっ。でも、くうぞ。がつがつ。うん、ふつうのあじのサバカんだ」

なすなす「かこうぎようしゃ、そおよおがつこお、かいよおせえぶつけんきゅうぶ、

って、かいてあるでえ」

まゆゆゆ「どうせ、わけのわかんねえぶかつがつくった、わけわかんねえさかなだる」

さっくん「で、ひまわりー。どーゆーぶかつなのー?」

ひまわり「よろしよくのけんきゅうとか、いろいろしてるところらしくです」

まゆゆゆ「あじは、ふつうだったぞ」

すみっこ「すみっこのまめちしきしゅう。」

クジラとおなじおおきさのサバや、マグロくらいのおおきさのアワビをつくって、

そういうのあちこちでの、アジモリのさかなにしてるっていう、ぶかつだよ」

なすなす「やっぱり、わけのわからんところやわあ」

さっくん「いでんしそーさで、モリのつまみをつくってるんだろーな」

まゆゆゆ「いでんしそうさって、んなもん、くわすなっ」

なすなす「ねえ、すみっこちゃん、なんでスマイルでは、アジをのまへんのお?」

すみっこ「きっさてんだから」

ひまわり「はえ」

まゆゆゆ「そーいうりゆうか」

さっくん「モリってー、そーよーの、あちこちでやってるよねー」

まゆゆゆ「ガキがモリなんか、するもんじゃあねえぞ」

すみっこ「スマイルでは、アジもモリも、どっちをするのも、すみれがゆるさないよ」

さっくん「アジでふとっばらうと、そのひとの、ほんとのすがたがわかるってゆーよねー」

なすなす「ひまありちゃんも、アジをやらへんやんねえ」

ひまわり「はえ、ひまわり、あじのことはやらないんですが、

みりんをませたのをすこしたべるだけで、ふとっばらって、あばれだします」

みんな「ひまりのほんしよう、じつはキケンだっ!」

まゆゆゆ 「オレたちは、どんなばあいでも・・・不幸から、のがれられないのかもしれない」

「せっかくのたいがくせうかつなのに、いまくじらびとができなくて」

[care-cafe : smiley-smile : 04]

すみっこ 「エアコンがこわれてかかりっぱなしの、あついくらいの、スマイルのあさ
ひまわり 「できました。こいとまかるにをえた、あたらしくおりよりです」
なすなす 「コイとマカロニかあ。こんかいのは、おいしそおやねえ」

さっくん 「いーかおりー。ぜんぜん、なまぐさくないよー」

まゆゆゆ 「がつがつ。きょうのはうまいぞ」

さっくん 「ぱくぱく。ほんとだおいしー」

すみっこ 「すみれがつくったよ」

さっくん 「やっぱりそーかー」

ひまわり 「はえ、きたいをうらぎりました」

さっくん 「ひまーりー。そういうときはなんでやねーんっていわないとー」

ひまわり 「はえ？そーなんですか」。

あ、れしぴをかんがえたの、ひまわりです。

こいのまかるにつてゆ、れんあいえがをみてかんがえました」

まゆゆゆ 「めちやめちやなところから、かんがえをひっぱってきたみたいだぞ」

さっくん 「ひまーりつてば、そもそもコイのいみをまちがつてるな」

まゆゆゆ 「すみのりより、やっぱうまいぞ」

ひまわり 「なんでやねん」

さっくん 「ひまーりー。ゆータイミングまちがつてるよー」

ひまわり 「はえ？」

あ、おきやくさんみたいです。ひま。にここにこ

だし 「ひまです」

すみっこ 「すなおそうな、がたいのいい、めがねだんしがやってきた」

ひまわり 「ごりべんさん、あついですし、こししくぬをどぞ」

「ゴリベン 「あ、ありがとう」

さっくん 「ひまー。だいがくかてーのひとー？」

「ゴリベン 「はい、そうです」

まゆゆゆ 「ひまっ。このあついのに、コーシーグーヌーから、ゆげがたってっぞ」

「ゴリベン 「いただきます。ごくごくごく・・・おいしいです」

さっくん 「すごい、ホットをいつきのみだー」

すみっこ 「ひま。はずれだけど、あるいみ、あたり」

なすなす 「ひまあ。がつちりしてて、おとこらしいのに、おちついてますやんねえ」

「ゴリベン 「えっ、そうでもないです」

さっくん 「だいがくかてーかー、おとなだー」

まゆゆゆ 「だいがくかていか、つよそうだな。かくとうぎやってんのか？」

なすなす 「まゆゆゆくん、ことばづかいがなってへんでえ」

「ゴリベン」 「はい、やっています。いちおう、じゅうどうさんなんです」

さっくん 「つよー。つよすぎー」

「ゴリベン」 「てれます」

すみっこ 「まゆゆゆと、けんどーたい、じゅーどーの、せーきのいっせんをしてほしー」

なすなす 「ふふふふつ、どっちがかつんやるお」

まゆゆゆ 「っせーな。で、オしらみてえなとしたあいてに、なんかはなしか？」

「ゴリベン」 「せっかくのだいがくせいかつなのに、うまくこいびとができなくて」

さっくん 「スマイルには、ほんに、こいのなやみがおーくまいこみますニャー」

まゆゆゆ 「ちやかすな」

さっくん 「もてそーに、みえるよー」

なすなす 「ゴリベンさん、かつこええですよお」

ひまわり 「はえ、ごりべんさんの、

かたおもいしてるひとって、どんなひとなんですか？」

「ゴリベン」 「かたおもいしてるひと・・・とくにいてないです」

さっくん 「がくっ」

なすなす 「あはは・・・」

まゆゆゆ 「おいおいっ」

なすなす 「どおも、そこがよくないとこみたいやでえ」

さっくん 「たべたいりょーりはとくはないけど、おなかだけはすいてるってとこかなー。

かつがつしてて、なんでもいーからたべたいっっておもってるんだよー」

まゆゆゆ 「そこをおんなに、みすかされてんだ」

さっくん 「アナゴどんぶりたべるときの、まゆゆゆみたいにー」

まゆゆゆ 「おいっ」

ひまわり 「はえ。あなごどん、おいし〜です〜」

なすなす 「なんでもいとおもわれるのは、じよしとしては、ちょっとなあ」

まゆゆゆ 「だな。アンタがおなじたちばだったらいやだる。

だれでもいいから、とにかくおとこがほしいって、おんなにおもわれて、

そのうえで、せまってこられるなんてよ」

「ゴリベン」 「そうですね、そうおもいます」

すみっこ 「かたおもいからでかまわないから、いいあいてをみつけて。

そこからはよくなっていくのをすすめるよ」

さっくん 「はやくも、これでかいけつしたなー。よかったよかったー」

なすなす 「ゴリベンさんの、このみのひとって、どんなかんじのひとですやるか？」

「ゴリベン」そうだな・・・ほんをよむのがすきな、おとなしいひとですかね。

それで、しんのつよいひとで、じゅんすいなひと。

それでいて、かみはくるで、ながいひとがいいです。

ふくは、しろのみずたまのワンピースと、むぎわらぼうしにあうひとかな。

あと、めがねがあうひとで、せいそなかんじのひとがすきです」

まゆゆゆ 「んなおんな、いるかっ」

さっくん 「どーかんがえても、ちゅーもん、おーいよー」

ひまくり 「はえ、ずーっとむかしの、れんあいえゝがの、ひろいんのひとみたいです」

すみっこ 「ゴリベンは、こいにこいしてる」

なすなす 「いるはずもないげんそおを、おいかけてるんやわあ」

ひまくり 「だれでもおげ、というのとちがって、だれにもきょゝみをもてないんですね」

さっくん 「おんなのひとに、きょゝみはあるんだねー。ただ、りそーがなー」

すみっこ 「かたおもいにならない、いちばんのもんだいは、そういうとこだとおもうよ」

「ゴリベン」 「そんなすてきなひと、いませんかね？」

ひまくり 「むかしの、れんあいえゝがのなかになら、いますよ」

さっくん 「くーそーのさんぶつだよー」

まゆゆゆ 「けんどうのけいこにいつてくる。あきれた」

すみっこ 「もうちょっと、いてあげて」

まゆゆゆ 「ったりいな。なら、おなじのしゅみのあいてをすすめっぞ」

なすなす 「ゴリベンのしゅみってなんですよるかあ？」

しゅみのおなじひとをさがすといいですよお」

「ゴリベン」 「どくしょです」

さっくん 「やっぱ、めがねだんしだー」

まゆゆゆ 「んで、どくしょって、どんなほんをよんでんだ？」

「ゴリベン」 「すうがくとか、ぶつりとか、りけいのほんをなんでもよみます。

てつがくもすきです」

さっくん 「うっ、あたまよさそー」

なすなす 「だいがくのがくぶは、なにがくぶですか？」

「ゴリベン」 「いちおう、ほうがくぶです」

まゆゆゆ 「そうようだいがくの、ほうがくぶか。アンタ、あきらかにオレよりあたまいいぞ」

なすなす 「じゅうどうをやって、りけいで、どくしょかで、ほうがくぶせいで、

そのうえ、そのみためなんて、ぜったいもてるとおもいますわあ」

さっくん 「ゴリベンさん、つよそーで、それにおとこまえだよー」

すみっこ 「ちょっときよわそうでおとなしそうだけど、

つよそうで、みためは、かなりいいよ」

まゆゆゆ 「アンタ、おとこらしいビシっとした、そういうがいけんしてっぞ
ひまくり 「はえ、れんあいしょせつは、おすきですか？」

「ゴリベン」 「そういうのは、すきというか、よんだことないです」

すみっこ 「ほんのせかいにいるようなひとを、おいかけてるわけとはちがう」

さっくん 「れんあいしょせつにでてくるようなひとを、とはちがうのか」

まゆゆゆ 「じっさいには、そのてのほんにでてくるおんなをおいかけてるのと、

おなじことだっ」

さっくん 「アイドルは、すきなのー？どー？」

「ゴリベン」 「けっこう、すきなほうです。」

ねここっこシスターズの、ももそのななかのファンです」

まゆゆゆ 「アンタ、んなもんにきょうみあんのか。ったく」

さっくん 「あーゆーのが、このみなんだー」

すみっこ 「すみれも、アイドルって、けっこうすき」

さっくん 「どひゃー、すみっこって、アイドルのファンなんだー。いがいすぎー」

すみっこ 「うん」

なずなず 「アイドルのグッズなんか、かわはるんですやるかあ？」

「ゴリベン」 「はい、けっこう、あつめてます。ファンクラブにもさんかしてます」

まゆゆゆ 「だいがくかていにかようとして、んなことしてやがんのか」

さっくん 「さっくん、おとこまえのスポーツせんしゅの、ファンになりやすいよー。

すきなせんしゅのモデルの、かっこいいグローブやシューズがあると、

すきなせんしゅみたいになれるかもっておもって、ほしくなるかなー」

なずなず 「そおいえばむかし、けっこうおいるいる、しゃんしゅうなんかをあつめてたわあ」

ひまくり 「あまいますくの、え、がはいゆゑさんのでてるえゑがは、

いつのじだいのも、だいたい、めゑさくだとおもいますゑ」

まゆゆゆ 「なにいつてやあんだか、おんなたちの、さっぱりわからんせかいだ」

なずなず 「アイドルみたいな、じっさいにあんまりいなさそうなひとをもとめるより、

そおよおだいがくには、おんなのひとってすごくおおいですし、

そおゆうとこで、いろいろと、このみのひとをさがしてみると、

いいあいてがみつかるとおもいますよお。

それと、おもいもしなかったタイプを、すきになることって、おおいです」

まゆゆゆ 「とにかく、ほんをよむんをやめる。んで、もっとひとのであいをだいじにしろ。

それと、アイドルの、ももぞなんとかのグッズもせんぶする。

どうも、アンタはほんのよみすぎだ。」

さっくん 「じゅーどーぶの、おんなをねらうといーよー」

まゆゆゆ 「それもひとつのて、かもな。」

「そういう、たいくかいけいの、あせくさいおんになっていう、げんじつじみたおんなに、あんがい、きがいくかもしれねえ」

さっくん 「あせくさい、けんどーぶのおんなは、ねらっちゃだめだよー」

まゆゆゆ 「んだところ」

ひまより 「ひまよりからみて、まゆゆゆゆゆゆさんのゆくとくりだとおもいます。」

「まゆゆゆゆゆさんのゆくとくり、ほんばっかりよんでるのは、あんまししないほうがいゝかなうっておもいます。」

「れんあいえゝがみたいなせかいもたのしくですが、げんじつにいるひとたちも、みなさん、すてきだなうって、ひまよりはおもうんです。」

なすなす 「なすなすからは、もうとくにいうことはないやるかなあ。」

「ゴリベンさんは、あたまがよくて、うんどうもとくいですし、

「まためもさうぱりしてますし、りそおはちよつとたかいみたいですけど、りそおのことさえかいけつすれば、それでもんだいはなくなるとおもいますわあ」

すみっこ 「げんじつをみたほうがいいよ。それと、いいあいてはぜったいみつかる。」

「にんげんて、いいあいてがみつかるようにできてるいきもの。」

「さいごにいうと、あたまのいい、うんどうもできるめがねだんし、もてるよ」

「ゴリベン」わかりました。みんな、ありがとう。もうちよつとげんじつをみます」

ひまより 「ごりべんさん、またきてくださいね。」にここ」

すみっこ 「しっかりとしたひょうじょうで、スマイルからかえっていく、ゴリベン」

さっくん 「うーん、きょーは、ちからになれたな」

なすなす 「まゆゆゆくんも、おんなのこに、きょおみをもちいやあ」

まゆゆゆ 「ったる」

ひまより 「はえゝ、もてるのにもつたいないです」

まゆゆゆ 「っだらねえはなしがおわったことだし、けいこにいつてくる」

さっくん 「けーこさんとこにいくのー？」

まゆゆゆ 「てんねんかオメーは。じゃあな」

すみっこ 「スマイルからでていこうとする、まゆゆゆ」

さっくん 「まゆゆゆさんて、スマイルにくるときに、よく、けんどーぎすがたですニャー」

ひまより 「はえゝ、まゆゆゆさん、きょゝも、けんどゝぎすがたです」

まゆゆゆ 「っせー、きがえるの、たりーんだ」

なすなす 「そおよおにはホンマに、こせえてきなかっこのだんしが、おおいやんなあ」

ひまより 「はえゝ」

すみっこ「いつもまわしすがたの、すもうぶいんもいる」

ひまわり「まゆゆゆゆゆさんも、すもゝぶにはいると、

すまいるにくるとき、まわしすがたになるんですかね〜」

さっくん「ニヤハハハハハハハ、まゆゆゆさんの、まわしすがたですかニヤ〜」

まゆゆゆ「って、おいこらっ。へんなこと、そうぞうすんなっ」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー、おとこのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてるー」

ひまわり「はえ〜。らぶれた〜ですか〜」

さっくん「なになに・・・」

おんなのひとに、きもちをいって、うまくいかなかったのですが、
いっほまえにすすめて、よかったとおもいました。

このちようしで、いっほずつすすんでいきたいです。ゴリベンより。

きれいで、きっちりしたじだなー。せーかくがあらわれてるよー。

でも・・・うーんー、うまくいかなかったのかー、うーんー」

なすなす「でも、ゴリベンさんもかいてはるとおり、まえにすすめたんやわあ」

ひまわり「はえ〜、よかったらって、ひまわりはおもいます〜」

すみっこ「すみっこのまめちしきしゅう。」

「ゴリベンは、アイドルのティーシャツすがたで、こくった」

みんな「って、そうか、あのファッションセンスがっ！」

[care-cafe : smiley-smile : 04]

「どにか〜、ほんをよむんをやめる。んで、もっとひとのであいをだいじにしろ。

それと、アイドルの、ももぞなんとかのグッズもぜんぶすてる。

べつとも、アンタはほんのよみすぎだ」

「げんじつをみたほうがいいよ。あと、いいあいてはげったいみつかる。

にんげんて、いいあいてがみつかるようにできてるいきもの」

「れんあいえ〜がみたいなせかいもたのしくですが、げんじつにいるひとたちも、

みなさん、すてきだな〜って、ひまわりはおもっんです〜」

ちっくん「いっちなおるんだろっ・・・傷

「じぶん、おんなのひまじりーとすることになったんだ」

[care-cafe : smiley-smile : 05]

すみっこ 「てんきがよい、きぶんのよくなりそうなの、スマイル」
さっくん 「きょーも、いーてんきだなー」

まゆゆゆ 「そうおもうなら、ソフトボールのれんしゅうしてこい」
さっくん 「タイヤキたべてからいくよー」

ひまわり 「はえ〜。タイヤキは、おひさまのひかりで、
にっこ〜しよ〜どくするといいですよ〜」

まゆゆゆ 「っておい、しよ〜みきげん、いつだ？」
ひまわり 「さんねんさんかげつまえです〜」

さっくん 「どっひやー……、すでになんこか、たべちったよー」
ひまわり 「ねだんが、とつてもやすかったです〜」

まゆゆゆ 「やすかったから、しいれたってことか」
すみっこ 「すみれにないしよ〜しいれると、こうなる」

ひまわり 「はえ〜？あ〜、いちげんさんみたいです〜。ひま〜。にこにこ〜」
だし 「ひまですっ」

なずなず 「ひまあ。からだおおきいですねえ。なにかスポーツをしてはるんですかあ？」
だし 「ラグビーやってる」

さっくん 「ひまー。ラグビーかー。かっこいーなー」
ひまわり 「まっちょさん、とりあえず、みそかつでもど〜ぞ〜」

まゆゆゆ 「おい、それあ、おれがさっきちゅうもんしたぶんだぞ」
なずなず 「マッコヨさん、なにかそうだんでもあるんですやるかあ？」

マッコヨ 「こんど、おんなのひととデートすることになったんだ。
で、どこいけばいいかと、デートのあいだに、どうすればいいかわからなくて、

それで、そこらへんをききに、そうだしにきた」
さっくん 「スマイルには、こいのなやみが、おーくよせられますニヤー」

ひまわり 「はえ〜、はつで〜とですか〜」
さっくん 「まゆゆゆは、どっかいった？」

まゆゆゆ 「おれあ、おんなともだちといったの、じんじゃだったぞ」
さっくん 「じんじゃって、なんでー？」

まゆゆゆ 「タダだから」
さっくん 「ぶー……！どっひやひやひやひや」

まゆゆゆ 「おいこら、なにわあつてやがんだ」
なずなず 「ぶつう、じんじゃにはいかへんでえ。はつもつでならべつやけどお」

まゆゆゆ 「ど〜いこつと、おれのかつてだ」
さっくん 「ひるごはんは、なにをたべにいったのー？」

きたない、くしかつやさんにいきたいです」

まゆゆ 「おう、ひまはおれのなかまだ。さすが、わかってやがる」

なすなす 「もうちょっとふんいきのいいところで、 Pastaなんかのイタリアンの、
がくせえさんでも、きがるにはいれるところがおすすめやでえ」

さっくん 「ハンバーガーでもいいよー。ファーストフードとちがつてー、

ちよっとおしゃれで、ちよっとおたかめな、おいしーとこー」

すみっこ 「ゆうえんちのなかで、なにかえらんでたべるのもわるくないかな。

ゆうえんちでたべるばあいには、なにをたべるかは、マッチョさんがきめて

ひまくり 「きたない、いーといんの、ぴざやさん、いきたいです」

まゆゆ 「そこは、べつにきたなくていいとおもうぞ」

なすなす 「マッチョさんは、たいいくかいけいで、ドンとかまえるほうやから、

デートちゆうにグイグイひっばってっていくくらいやと、

あいてのひとからの、ひよおかがあがりますよお。

おんなのひとのきもちをわかってはるひとに、ひっばられるのって、

おんなのひとは、うれしいとおもうわあ」

すみっこ 「おとこのひとは、デートしてるあいだは、

まよわないでどんどん、そのほできめてくとかっこいいよ。

おどおど、まごまごはぜったいダメ。なにがあっても、まよわないこと。

したしらべを、あらかじめちゃんとしておくのも、わすれないで」

さっくん 「ひっばってくおとこかー。まゆゆには、ふりまわされるのやだなー」

まゆゆ 「んだとこらっ」

さっくん 「どひやひや、じんじゃまでひっばっていかれることになるよー」

まゆゆ 「おいっ」

なすなす 「おれになんでもまかせてっていうくらいで、ひっばってってくれる、

そおゆうおとこのひとって、かっこええですよお。

マッチョさんなら、そおゆうの、むいてるとおもいます」

マッチョ 「わかったそうする。みんなありがとう」

ひまくり 「まっちょささくん、またきてくださいね。にこにこ」

すみっこ 「じしんをもってスマイルからかえっていく、マッチョ」

さっくん 「ぎょーは、ちからになれたなー」

まゆゆ 「さんざんバカにされたが、やくにはたてたぞ」

さっくん 「はんめんきょーしとしてだよー」

まゆゆ 「んだとおいっ」

なすなす 「さっくんちゃん、はっデートにいくとすればどこにいきたいん？」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまくり 「あの、まゆゆゆゆゆゆさ〜ん」

まゆゆゆ 「あきらかに、ゆがおおいぞ」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまくり 「あの、ゆゆゆゆゆさ〜ん」

まゆゆゆ 「こんどは、まがぬけてるぞ」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまくり 「あの、たいやきだいすきさ〜ん」

さっくん 「てーちゃくしそーだなー、そのあだなー」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまくり 「あの、なすなすなすなすなすさ〜ん」

なすなす 「あきらかに、くりかえしがおおいでえ」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまくり 「あの、ななななすなすさ〜ん」

なすなす 「ひまありちゃん、そのよびかた、わざとかいなあ？」

すみっこ 「そして、べつのひ」

さっくん 「きょーは、ひまーりがくるのがおそいなー」

なすなす 「もお、ゆうがたやでえ。しんぱいやわあ」

ひまくり 「ひま〜」

まゆゆゆ 「おっ、きたか。ひまつ。どうした？おそかったぞ」

ひまくり 「はい、みちにまよってました〜」

さっくん 「ちなみに、なんじかんくらいまよってたのー？だいたい、おちはみえてるけどー」

ひまくり 「はい、がっこうのいりぐちから、すまいるまで、ごじかんです〜」

みんな 「やっぱりっ！ー」

「からかへよ、じいせうなとしかえらねえのほ？」

[care-cafe : smiley-smile : 06]

すみっこ 「そうようがっこうのちかくで、じしんがおきたひのスマイル」
なすなす 「ブーーーーーッ！げほっげほっ。ごはっごはっ」

まゆゆゆ 「んだ？ひまのつくった、あたりか？」

なすなす 「みたいやわ。こしよおと、わさびと、とおがらしをませたまいたいなあじやった」
さっくん 「どひゃひゃひゃひゃ。」

スマイルのコーシーグーナーは、どくみtainなもんですニャー」

すみっこ 「ロシアンルーレットともいう」

なすなす 「でも、ふしぎとのみたくなるわあ」

まゆゆゆ 「ふしぎなもんだ」

ひまぐり 「はえ〜？あ、おきやくさんです〜。

ひまぐり、ちらちらしたおんなのひと〜。にこにこ〜」

すみっこ 「スマイルに、ちらちらしたおんなのひとがやってきた」

じよし 「ひま。あたし、トガラシをすうのがやめられないんだよねえ。どうしよっかあ？」

まゆゆゆ 「こんどのいちげんはどんなやつかとおもえば・・・。

バカかテメーは。んなもん、こんじょうでやめる」

ひまぐり 「とがらしさん〜、ひまぐりもからいのはすきです〜、よくつかいます〜」

さっくん 「そこのかた〜。トガラシとべつのトガラシをまちがえてますよ〜」

ひまぐり 「がながんつかいます〜」

まゆゆゆ 「このまえケチャップのかわりに、ちようみりようとして、

トガラシだけかけられてつくられてるオムライスをくわされたぞ

すみっこ 「ひまりはトガラシつかいすぎ。

で、がっこうでトガラシなんかすってると、

ちきゅうをいっしゅうさせられそうなくらい、

せいとかいちように、ぶんなぐられてぶつとぶことになる」

トガラシ 「どうすればやめられるかなあ？」

まゆゆゆ 「びょういんいつてきて、ちりょうつけてこい。

それがいやなら、いっしょう、こどもうまずにいる」

トガラシ 「びょういんかあ。ひようかかるとんじやない？」

なすなす 「なすなすも、むかし、トガラシすってたでえ」

まゆゆゆ 「おい、それほんとはなしか？」

さっくん 「いがいすぎ〜」

なすなす 「ほんまやで。へビートガラサーやった」

さっくん 「へビートガラサーっていうの、

さいきょーのぶきのなまえみたいだね〜。かっこい〜」

ひまわり 「かつこい〜です〜」

トガラシ 「どうやってやめたわけ？」

なずなず 「ふくししせつに、にゆうしよしてたときに、やめられた。

あそこ、すえへんから」

さっくん 「えー」

まゆゆゆ 「マジか」

なずなず 「マジやで」

さっくん 「なずなずに、そんなかこがー」

なずなずは、とびきゅーで、だいがくいんせーになるくらいだから、

ちよーゆーとーせーなんだとおもってたよー」

ひまわり 「はえ〜？」

さっくん 「んー。でも、ふくししせつにいくわけにもいかないかー」

トガラシ 「ふくししせつかあ、いやだなあ」

なずなず 「やめるには、せいかく・・・こんぼんてきなかんがえかたを

かえるのがいちばんかって、なずなずはおもっで。

なんでかっていうと、まゆゆゆくんのゆうとおり、

やめるには、こんじょおがだいじやから。

そのためには、トガラシさんは、やんちやなおんなのひとみたいやし、

かんがえかたをかえるために、やんちやさをかえるといいかな。

それと、やめるためには、トガラシをキッパリやめて、じぶんと、

じぶんのじんせいをかえるんやでっていうくらいのもちで、いどむとええで。

そおすること、やめようというきもちを、つよくもてるんやおもいます。

そおゆうきになることができないなら、

なずなずのいうようなやめかたは、むりやおもっかなあ」

まゆゆゆ 「だよ」

トガラシ 「せいかくと、じんせいなんてかえられんのお？」

なずなず 「じぶんでいうのもなんやけど、なずなずは、かえられたで」

まゆゆゆ 「デメーはどうも、トガラシをやめるのに、ほんきでとりくむきがねえらしい」

トガラシ 「そう？」

まゆゆゆ 「わかんねえやつだなっ。そんないわけばっかしてっつと、

いつまでたつてもじぶんをかえることができねえんだっ！

いいわけばっかのやるきのねえヤツに、

まともにあいてするヤツなんていねえんだぞっ！

んなこともわかんねえのかバカおんながっ！」

トガラシ「ああ？ええ？そう？あんま、おこなよ？」

まゆゆゆ「んだテメー。ちったあ、はんせいくらいしろっ！」

さっくん「まゆゆゆー、どんまーい。トガラシさんもー」

なずなず「おちつきい、ふたりとも」

すみっこ「トガラシさんは、やるきもないし、

くろうせずにすむ、らかなやめかたをさがそうしてる。

そんなかんがえだと、まゆみのいうとおりだよ。かわるのはむり」

トガラシ「あーはいはいっ！もういいっ。

まじめちゃんたち、トガラシすわずに、げんきでいてねっ！」

すみっこ「あらっほくスマイルをでていく、トガラシ」

ひまわり「とがらしさん、またきてくださいね。にここにこ」

まゆゆゆ「くそが。っざけたおんなだった。にどとくんな」

さっくん「ああゆーひとつ、ずっとあのままなんだろーな」

うーん、きょーもけつきよく、たすけられなかったな」

なずなず「もお、どうしやおもあらへんのやわ。

・・・すくうがわにとっても、すくわれるがわにとっても」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてる」

ひまわり「はえ。らぶれたすですか」

さっくん「なになた・・・」

やっぱりやめられない。どうしていいかわからない。たすけて。トガラシより

みんな「・・・」

[care-cafe : smiley-smile : 06]

「じぶんと、じぶんのじせをかせぬをたすけて、つうへらのきもちを、つぎはとせと」

「そんないいわけばっかしてっ」

いつまでたってもじぶんをかえることができねんだっ！」

すみっこ 「そして、べつのひ」

じょし 「ひまりちゃん、いっしょにしゃしんどって」

ひまわり 「はい。ここにこ〜」

だし 「ひまりちゃん、サインかいてよ」

ひまわり 「はい。ここにこ〜」

さっくん 「ひまーり、もてるな〜」

なずなず 「なずなずだけのものにしたいいいいい」

すみっこ 「そして、べつのひ」

なずなず 「ひまありちゃん、このほおしを、かぶってほしいわあ」

ひまわり 「はい〜」

なずなず 「つぎはあ、このふく、きてえ」

ひまわり 「はい〜」

なずなず 「にあってるうううう、かわいいいいい。つぎはかみがたをかえようねえええ」

さっくん 「ひまーり、おもちゃにされてる〜」

ひまーりちゃん、いやなときはいやっついおーね〜」

ひまわり 「はえ〜。いやとちがいますよ〜」

すみっこ 「こころがひろら」

さっくん 「まゆゆゆに、おんなのこのふくをきせかえをすると、

あんがい、そのきになってもらえるよ〜」

まゆゆゆ 「って、おいつ」

すみっこ 「そして、べつのひ」

まゆゆゆ 「おい、なず。すうがくの、このもんだいをおしえてほしい」

なずなず 「このもんだいはやねえ、なんたらかたら」

まゆゆゆ 「そっか、ありがと。で、このもんだいのこうしきが・・・どうたらこうたら」

なずなず 「こうゆうもんだいの、こうしきはやね・・・ふんではんたら」

ひまわり 「はえ〜、なずなずなずさん、あたまいくです〜」

なずなず 「そんなことあらへんでえ」

まゆゆゆ 「あたまがよくないなんて、とびきゆうのだいがくいんせいがいっても、

あんま、しんじられねえこったぞ。

だいがくいんに、にゅうがくすつために、そうとう、がんばったんだる」

なすなす 「そんなに、がんばってへんでえ」

すみっこ 「ほんとは、とてもがんばったのに、ひかえめな、なすな」

さっくん 「すーがくかー。そのことはをきくだけで、ずつーがー」

まゆゆゆ 「なすにおしえてもらえ」

なすなす 「ひまありちゃんも、どんどんきいてなあ」

ひまより 「はえ〜、じゃ〜、くくの、にのだんをおしえてください〜」

みんな 「えっ、そこらへんからっ!?!」

すみっこ 「そして、べつのひ」

まゆゆゆ 「オメーら、ちゃんとべんきようしてやがんのか?」

さっくん 「うーーーんーー、べんきよーかー。さっくん、おちこぼれだからー」

まゆゆゆ 「んなこときめつけんの、まだまだはええだる。ぐだつてねえで、がんばれ」

さっくん 「じゃーがんばるー」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅう。」

そうよしのせいとたち、じつはみんな、けっこうべんきようしてる」

ひまより 「はえ〜」

なすなす 「そやねえ」

さっくん 「ねーすみっこー。なんでそーよーって、こんなへんながつこーなのー?」

すみっこ 「せいとかいちようが、かわってから、おかしくなった。そこがかんけいしてる」

まゆゆゆ 「せいとかいちようか。アイツのことだな。アイツ、なにかんがえてやがんだ?」

すみっこ 「なにをかんがえてるか、すみれにもわからない。でも、わるいひとはちがうよ」

なすなす 「そおよおだいがくと、だいがくいんかてえのほおは、けっこおふつうやでえ」

ひまより 「はえ〜、かわってるのって〜、ひまよりたちの、かよってるかて〜だけですか〜」

すみっこ 「でも、ここでは、みんなたのしくて、いきいきしてて、いじめなんかもないし、

もしかすると、とてもいいがつこうなのかもしれないと、すみれはおもうんだ」

さっくん 「そーだねー、そーともいえるよー。スマイルにくるあいだのほかに、

あさからゆうがたまで、ずつとぶかつしても、

だれもさっくんをおこらないんだー。そーかんがえると、いーとこだよー」

すみっこ 「こうそくは、ふたつ。みんなにめいわくをかけないこと、と、トガラシげんきん」

さっくん 「こーそくが、あってないよーな、へんなとこだけど、いーとこだよー」

なすなす 「いつもおもうねん。そおよおの、ここのかてえにこれて、ほんまによかったわあ」

ひまより 「ひまよりも、そ〜よ〜にこれて、よかったです〜」

まゆゆゆ 「だな」

なすなす 「そんなめで、みてくるんやね・・・憎しみにみちため」

「~~ら~~も~~あ~~でやっつたのを、もうやめようかなっておもってるんだ」

[care-cafe : smiley-smile : 07]

すみっこ 「たいようのひかりで、まぶしい、ひるどきのスマイル」

まゆゆゆ 「さく、オメー、レギュラーめざしてんだろ、プロテインでものんどけ。

からだをうごかしたあとにのむと、きくらしいぞ」

さっくん 「どひゃひゃひゃ、なにいつてんのー、

たんぱくしつくらい、いっつもタイヤキからとってるよー」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅう。タイヤキにはプロテインは、はいていない」
さっくん 「えー、そーなのー？さかなのにくには、

プロテインが、たくさんはいつてるんだとおもってたよー」

なずなず 「タイヤキには、タイのすりみが、つかわれてるわけとはちごたようなあ」

さっくん 「そーなのかー、しらなかつたー」

まゆゆゆ 「このまえ、ひまが、タイのすりみでタイヤキつくってたぞ」

さっくん 「そっかー、それでかんちがいたんだよー。ほんとのタイヤキだー」

すみっこ 「あるいみ、かなりのごちそうだね」

ひまぐり 「はえ〜？あ、おきやくさんです〜。ひま〜。にこにこ〜」

こども 「こんにちはー、ひま」

すみっこ 「おさない、おとこのこがやってきた」

なずなず 「ひまあ。ちっちゃい、かわいいおきやくさんやわあ」

ひまぐり 「ちびちびさん、まずは、こ〜し〜ぐ〜ぬ〜でもど〜ぞ〜」

チビチビ 「ありがとお。ごくごく、おいしいっ。おいしいなあっ」

さっくん 「ごくごくとちがって、そこはぜひ、ちびちびとのんでほしかったなー」

チビチビ 「おかしちようだーい」

ひまぐり 「はい〜、ど〜ぞ〜」

すみっこ 「チビチビに、そのまんま、かくざとをてわたす、ひまり」

チビチビ 「かりかりかり。おいしい、おいしいっ。さとうみたいなあじがするー」

まゆゆゆ 「っはははは、そりゃそうだ」

なずなず 「ふふふふ。それで、かわいいおきやくさん、なにかはなしでもあるのかなあ？」

チビチビ 「ぼく、いま、しょうねんやきゅうやって、そこでレギュラーになれないんだ。

それで、いままでやってたのを、もうやめようかなっておもってるんだ」

まゆゆゆ 「っだらねえな。やめるかどうかはあとできめる。

いまはうまくなることだけかんがえる」

さっくん 「そだよー、せっかくはじめたのに、やめるのはもったいないよー」

なずなず 「こおこおせえくらいで、やるスポーツをかえるのはどおかとおもうで。

でも、ちびちびくんくらいの・・・しょうかていのこ、くらい？なら、

まだかえてもいいかなって、なずなずはおもうかなあ」

まゆゆゆ 「やきゅうでつうようしねえやつが、

サッカーやバスケット、つうようすつとおもえねえ」

なずなず 「うん、そおやねえ、そおいわれるとそおやね」

さつくん 「すみっこは、どーおもうー？」

すみっこ 「まゆみとおなじかんがえだよ。やきゅうがつづかないのに、ほかのことをしても、レギュラーになれるような、そういう、いいけっかはえられない。

それなら、いまのしょうねんやきゅうをつづけるべきだとおもうんだ」

なずなず 「ひまありちゃんは、どおおもうん？」

ひまくり 「はえ、しいいにでれなくても、

すぼくつをつづけてるひとたちって、たくさんいますし、

すぼくつをしてるひとたちから、おはなしをきくのはどうでしょうか？」

なずなず 「うん、そやね。スポーツをやってる、

まゆゆゆくと、さつくんちゃんはどおなん？」

まゆゆゆ 「おれあ、いまは、けんどうでだんたいせんのメンバーになってっけど、

だんたいせんにでれなかつたじきでも、やっぱ、けいこはちゃんとしてたぞ。

しいいにでれなくても、はをくいしばってけいこしてたから、

いま、しいいにでれんだ。だから、チビチビもいまはこんじょうでやりきれ」

チビチビ 「うん、そうだね。ならがんばる」

まゆゆゆ 「って、なつとくすんの、ずいぶんはええぞ」

なずなず 「まゆゆゆくん、だんたいせんのしいいで、なんばんめにたたかうせんしゅなん？」

まゆゆゆ 「ちゅうけんをやってっぞ。まあ、そこそのうでまえてこった。

それとな、この、さつきからずつとタイヤキくってる、さつくんておねえさんは、

レギュラーになれなくてもソフトボールをつづけてっぞ」

チビチビ 「さつくんおねえさんは、なんでレギュラーになれないのに

ソフトボールをつづけてるの？」

さつくん 「んーっんん、なんでかなー。よくわかんないなー」

まゆゆゆ 「ソフトボールがよほど好きなんだろ」

さつくん 「そだねー。すきでやってることに、りゆうは、いらなんだよー。

それと、しいいにでれなくても、

ソフトボールをつづけることで、おなじぶかつのともだちもできるし、

がっこうにくるのも、たのしいとおもえるからかなー。

あとやっぱ、さつくんはからだもそんなにおおきくないし、

さいのーがあるかどーかもわからないんだー。

ピッチャーはエースになるのもたいへんだけど、

でも、いつかしあいにでれるとしんじてるから、
がんばってつづけられるのかなっておもうよー」

すみっこ「かなえないもくひょうがあるから、つづけられる。」

スポーツにかぎったことと、ちがうよ」

さっくん「チビチビくんも、しあいにでるっていうもくひょうをもって、

それにむかってがんばるよー」

なすなす「さっくんちゃんて、いつからソフトボールやってるん？」

さっくん「ちよっとまえからだよー」

ひまくり「はええ。ずーっとまえからだとおもってましたよ」

さっくん「むかしは、しょーねんやきゅーのチームにはいって、

そこでれんしゅーしてたよー。まわりは、おとこのこばっかだったよー」

まゆゆゆ「それで、おとこみてえなせいかくにそだったってわけか」

さっくん「んなわけあるかーいー。どひゃひゃひゃひゃ」

チビチビ「そのチームで、レギュラーになれたのー？」

さっくん「ううん、むりだったよー。でも、やきゅーはすきだったよー」

ひまくり「ちびちびさんは、やっぱりやきゅーをすきなんですか？」

チビチビ「やきゅー、だいすきだよ。しあいにでれないのがいやなだけ」

さっくん「だいたとか、しゅびがためで、

しあいにだしてもらえるかもしれないし、がんばるよー」

まゆゆゆ「やきゅーがすきなんだろ。いま、しあいにでれねえくれえであきらめんな。

なにも、こうしえんめざせとか、プロになれっていつてるわけじゃねえんだ。

がんばれば、もしかすつと、チビチビだってプロになれることだってあつぞ。

それに、そういうのソフトボールぶなんて、ぜんこくたいかいにでるくらい、

レギュラーになんのも、れんしゅーも、きついとこなんだぞ。

さっくんおねえさんはそれでもつづけてんだ。

チビチビなら、ぜってえしあいにでれるようになったから、

やめずにつづける。おとこだろ。

とちゅうでなげだすようなやつなんて、どうせ、なにやってもつづかねえ」

さっくん「そーだよー、まゆゆゆのゆーとーりー」。

さっくんのいるソフトボールのぶかつは、

レギュラーになるの、とつてもきついんだよー」。

でも、チビチビくんなら、がんばればきつとしあいにでれるよー」

チビチビ「わかった、じゃーがんばるよー、

けんどうのひとと、タイヤキたべてるおねえさんたち、ありがとうー」

ひまわり「ちびちびさん、またきてくださいね、にこにこ」

すみっこ「げんきにスマイルからかえっていく、チビチビ」

さっくん「うーん、きょーは、ちからになれたな」

ひまわり「あ、まゆゆゆゆゆさん、

けんどうをやめよとおもったこと、あるんですか？」

まゆゆゆ「いっかいもねえ。しんどくても、オレじしんのことを、

こんじょうがねえとおもうのも、おもわれるのも、ぜってえいやだった」

なずなず「さっくんちゃんは、そおゆう、やめたいってこと、かんがえたことあったん？」

さっくん「ちっちゃいとき、しょーねんやきゅーをしたころ、チームのなかで、

まわりがおとこのこばかりで、そのなかでおんなのこはじぶんだけって、

こどものとき、はじめてきついで、

そーおもったときに、やめたいなって、ちょっとおもったよー。

でも、やめたくなかった。まわりからどうおもわれても、まけたくなかった」

ひまわり「まゆゆゆゆさんと、さっくんさん」。

やっぱり・・・にたものどうしなんですよ」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー、おとこのこから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてる」

ひまわり「はえ。らぶれたくですか」

さっくん「なになに・・・」

レギュラー！なえなかつた！だいだなれた！チビチビ」

まゆゆゆ「きったねえじだな。しかも、じをまちがってっぞ」

さっくん「しあいにでれたんだよー。よかつたよー、よかつた」

なずなず「なずなずなんかでも、だれかのやくにたてるんやわ。そっおもたわあ」

まゆゆゆ「じょうだんでもなんでもなく、しょうらい、チビチビが、

プロやきゅーせんしゅになっかもしんねえぞ」

さっくん「さっくんたち、プロやきゅーせんしゅになるのを、たすけたのかもしれない」

ひまわり「たすけるって、なんでもないよーでいて、じつはすごいのもかもしれないです」

[care-cafe : smiley-smile : 07]

「やきゅーがすきなんだ。うま、しあいにでれねえくれえであきらめんな」

「かなえないもくひょうがあるから、つつけられる。スポーツにかぎったことと、ちがうよ」

「すきでやっつてるとした、りゅーは、いらないんだよー」

すみっこ「いまはわからなくても、ちょっとずつわかっていけばそれでかまわない。
うん・・・知らないほうがいいことも」

「さがさ、ほんとに、がかになりたいっておもってる」

[care-cafe : smiley-smile : 08]

すみっこ 「ぼかぼかようきの、ここちよい、おひるのスマイル」
さっくん 「ぐがーぐがー」

まゆゆゆ 「さくのいびき、あいかわらずうるせえぞ」
さっくん 「もつとタイヤキたべたーいー」

すみっこ 「タイヤキをくちくわえながら、タイヤキのゆめをみるさくら」

ひまわり 「はえ〜、タイヤキ、すごくすきなんですね〜」

なずなず 「タイヤキをかみくだいて、のみこみながら、ねてるっ」

すみっこ 「すごくきょうな、ねぞう」

まゆゆゆ 「じゃあねえ、ねながらタイヤキくわすために、

もうちっと、タイヤキつくってやってくれ」

ひまわり 「はい〜、わかりました〜。あ、おきやくさんです〜。ひま〜、たごたご〜」

だんし 「こんにちは、ひま」

すみっこ 「じしんのなさそうな、だんしがやってきた」

さっくん 「もつとくわせるー」

まゆゆゆ 「ひまっ。さくのやつ、どんなゆめをみてやがんだ？」

ひまわり 「げ〜じつさん、あたらし〜めにゆるの、

おさ〜と、はちみつと、さ〜きびと、かんみりよ〜のそ〜だわりをど〜ぞ〜」

げいじつ 「ありがとうございます。ごくっ、うん、おいしい」

なずなず 「ええっ、おいしいん？」

まゆゆゆ 「つまり、ふつうよりあまい、ソーダそのものってどこか。

ひまがつくったのに、うまいとは」

なずなず 「ひまあ。なにかおはなしですやるかあ？」

げいじつ 「ほ〜、ことしそつぎようで、そつぎようしたあと、

がいこくの、えのがっこうにいこうとおもってるんだ。

でも、おもいきったことをするゆづきがなくて・・・」

なずなず 「かなえたいゆめかあ。もくひょうをもつことってだいじやおもつでえ。

もくひょうにむかってがんばるから、せいちようできるんやっっておもいますわあ」

まゆゆゆ 「しっばいはつきものだっっておもつとけ。

だが、しっばいしてもやりなおしはきくぞ。

もうひとついうと、がいこくいって、うまくいなくて、

もし、いつかげつでかえってくることになっても、えられるものはあるはずだ」

ひまわり 「ひま〜りも、しっばいしてもやりなおしがきくってゆるの〜、

ほん〜とだな〜っっておもいます〜。

しっばいをこわがらないで〜、がんばるのがい〜んじやないでしようか〜。

あとで、あーしとけばよかったっておもうの、いやですし〜」

げいじつ 「こんなえ、かいてるんだ」

なすなす 「わあ、うまあい」

ひまゝり 「はえ〜、じょ〜ずです〜」

まゆゆゆ 「このうまさ、がかをめざすだけあっぞ。

かんがえようによっちゃ、がっこうなんていなくてじゅうぶんってくれえに

げいじつ 「あはは、ありがとう、うれしいな。でも、うえには、もっとうえがいるよ」

なすなす 「えのがっこう、もしかして、しゅうがくピザでいかはるんですやるかあ？

かくひなんか、けっこおたいへんやおもうんですが、どおしはるんですか？」

げいじつ 「おやに、りよひと、がっこうのがくひと、

がいこくでの、せいかつひをだしてもらうつもりをしてるよ」

ひまゝり 「はえ〜、すご〜く、ゆ〜ふくです〜、うらやまし〜です〜」

まゆゆゆ 「そんなにゆうふくないえなんだったら、

がかになってもならなくても、じゅうぶんくってけっだる。

それにそれだけゆうふくなら、このくにの、

わたくしりつのえのがっこうにでも、ほかのふつうのがっこうにも、

ちゃんとがくひをはらってもらって、いけそうなもんだぞ」

なすなす 「げいじつさんは、そおよおをそつきょうしたあと、

かいしゃいんしながら、しゅみでえをかくっていうのは、どおなんでしょお？」

げいじつ 「どうせなら、がかになりたいんだ。それに、もっといいえがかきたい」

まゆゆゆ 「どうせなら、か。かいしゃいんをしながらかいても、よさそうなもんだがな。

なんでそうしねえんだ？」

げいじつ 「え、がかになりたいからだよ」

まゆゆゆ 「アンタ、ほんとは、がかになりてえんじやなくて、

ふつうのしごとにつきたくねえだけじゃねえか？」

げいじつ 「ちがうよ、ほんとに、がかになりたいっておもってる」

まゆゆゆ 「そんなに、がかになりてえなら、

このくにの、びじゅつけいのがっこうにでもいけ。

このくにのなかでも、がっこういってあるあいだは、はたらかなくてすむぞ。

それなのに、なんでがいこくの、えのがっこうなんだ？」

げいじつ 「でも、がいこくにいてべんきようするほうが、

もっとうまく、いいえがかけるようになるとおもった」

まゆゆゆ 「おもうんだ、か。そうおもうなら、もういうことはねえ。

がいこくにでも、どこにでもいってけ」

なすなす 「まゆゆゆくん、もっとやわらかくいったげてえ」

ひまくり 「はえ、そもそもどうして、がかになりたいたんですか？」

げいじつ 「そりややっぱり、えをかくのがすきだからなんだ。それでだよ」

まゆゆゆ 「すきにしろ。えがかきたいだの、がかになりたいただの、

バカのひとつおぼえみてえにいいやがって」

なすなす 「たとえば、もし、びよおいんのおいしやさんになりたくて、

それで、いがくぶにいくってゆうんなら、

それはぜったいにひつようなしんるになつてくるとおもいますわあ。

でも、がかになりたいたなら、べつにいがいこくにいくとか、

えのがっこうにしんがくするっていうしんると、ちごてもええんとちゃうかなあ？

それに、ただ、えをかきたいなら、うまくてもうまくなってもいいからかいて、

ともだちにみてもらうとか、ギャラリーをかりてみてもらうとか、

いろいろとみちはあるし、いろいろとかんがえてみると、

ぜったいに、いがいこくのえのがっこうにいくっていう、

そういうひつようはあらへんのかなあとおもいます」

げいじつ 「……」

まゆゆゆ 「けつるんはアンタがだせ。アンタのじんせいだ。オレがいうこっちゃんええ」

すみっこ 「げいじつさんは、たぶん、えをかくしごとというのに、

あこがれをもってるんだとおもう。

その、えをかくためにひつようになることの、

がいこくの、えのがっこうにいくというのにも、あこがれをもっている気がする。

でも、がかになることのげんじつというのは、あまくないとおもうよ。

それでも、えのがっこうとか、えをかくしごとというのをめぎすのなら、

やってみるのもひとつのいきかただと、すみれはそういうふうにおもうんだ」

ひまくり 「はえ。ひまくりには、ゆめってゆゝのがないんです。」

ただ、ゆめをきほゝとしてもれば、それでいゝんじゃないでしょゝか。

なくさず、みうしなわずに、だいにこころのおくそこにしまつてあつて、

こころのささえにしておいて、それでかまわないきがします。」

ゆめは、かなえようとするのちがって、

ずっともちつつけることがたいせつかなくって、ひまくりはおもいます。」

だから、ゆめとしてもちつつけて、

あるてゝど、じぶんでなつとくがいくように、いつかなれば、

ががさんには、なれてもなれなくても、

どっちでもいいのかなゝって、おもうんです。」

でも、ひまわりみたいなく、しゅらいをたのしみにできないひとだから、
そくおもってしまうのかもしれないです」

まゆゆゆ 「がかなんて、くってけるわきやねえ。」

そのことをわかったうえで、いつてやがんだ」

すみっこ 「おとなのひとにきけば、だいたいのひとは、ゆめをかなえるということを、
げんじつには、むりだというかもしれない。

でも、じっさいにゆめをかなえられるひとも、ほんのごくわずかにいる。

そこをめざすかどうかという、そのといには、せいかいはないとおもうんだ」

なすなす 「なすなすたちがいえること、それくらいやわあ」

げいじつ 「もうちょっとかんがえてみる・・・」

ひまわり 「げんじつさん、またきてくださいね」。ここにこ」

すみっこ 「がっくりしながら、かえっていく、げいじつ」

なすなす 「ううん、せなかをおしてあげたほうがよかったんやるかあ」

すみっこ 「きにするひつようはないよ。」

しんろはじぶんできめるもので、そのためのじよげんはできた。

あのとして、もう、しゃかいにすだつようなひともいる。

そういう、じぶんでかんがえられるとすだよ。

まだ、ゆめをおいかけていてもかまわないとすだとおもうよ。

だけど、なにも、がっこうなんかで、こどもがよくいわれるように、

ゆめをおいかけることだけが、ただしいわけともちがうと、すみれはおもうんだ。

ただ、がいこくの、えのがっこうにいきたいということについて、

なすなのいうとおり、せなかをおしてあげるといふのもわるくなかったとおもう。

そのどちらがたさいとおもうかは、

なすなど、まゆみのかんがえかたのちがいだよ。

それと、ゆめをおいかけているひとが、もしここにいれば、

そのひとは、げいじつさんの、せなかをおしてあげてたとおもうし、

そうすることも、まちがっていないとおもう。

せなかをおしてあげる、あげないということにも、せいかいはないとおもうんだ」

まゆゆゆ 「そっか？かねもちのボンボンのもつ、あまっちよるい、

ゆめとはいえねえ、くだらねえげんそうだ。

おおかた、ふつうにはたらかなくても、おやおかけでくってけっから、

らくでたのしそうな、そういうしごとにつこうっておもってやがんだ。

くってくのひつしなら、わざわざがっこういって、がかなるうなんていう、

んなくだらねえこと、かんがえっか」

なすなす 「さつきもゆうたことやけど、ゆめをもつことって、だいじなことやおもうねん。

ただ・・ゆめをもつことって、くるしいことやとおもうわ。

だって、なすなすも、だいがくいんまでいって、

おないどしの、ふつうのおんなのことちがうせいかつして、

それで、なんでこんなになんぼらなあかんのやるておもうもん。

でもそれも、なすなすは、あんましゆうふくとちやうから・・しゃあないねん。
げんじつをみていきっていくので、せえいっばいなんやわ。

ゆめをもつて、それをかなえるために、すぎこのんで、

だいがくいんにいってゐるわけとちごて、もっとげんじつをみてかよってんねん。

なすなすかつて、ほんとはもつとちがう、

あんなしごとにつきたいなっていうのもあったし、

ずつとこころのなかにもつてたゆめを、

かなえるのがむりってわかったとき、ほんまにかなしかった。

だから、ゆめがあるのに、げんじつをみなあかんのって、

ほんまにくるしいとおもうんやわ。

ゆめをもつって、ほんまは、げんじつとのあいだで、

ただくるしむだけやおもう。

たぶん、げんじつをみてないですむひととか、

げんじつをしないでいてるひとだけが、

ゆめをもつて、みつづけられるんとちやうやるか。

そやけど、このかんがえは、なすなすがおもてるだけで、

ほかのひとはちやうかもしれん。

いまいった、このこと、わかってもらえたらうれしいわ」

ひまより 「はえ、くるしむだけなら、ゆめなんて、もたないほうがいゝんでしょ、か」

まゆゆ 「そうか、くるしむだけか・・。

むずかしいもんだいだな、オレからはかんたんにはなんともいえねえ。

オレあ、ひまといっしょで、ゆめってやつをもつてねえんだ。

だが、なすはたいへんで、ひっしになつてやがんだ。

オレからは、たいしてたすけられねえが、げんじつでもんのために、

ひっしになつてんなら、なすをできるかぎり、たすけっぞ。

しっかし、さっきのやつ、もくひょうのために、

なんにもがなばつてねえようにみえた。

がかなりたいだのなんだの、にげるためのいいわけにつかつてやがるだけだろ。

あんなやつ、たすけようってときには、まったくなれねえ」

なずなず 「げいじつさんが、えをかくのが好きっていうのは、うそとちゃうし、

がかなるために、えをかいてきたっていうのも、ほんまやおもう。

なずなずは、そうおもてる。げいじつさんの、めをみて、おもたもん」

すみっこ 「なずなは、ほんとにげいじつさんのせなかをおしたかったんだ。

なぜかというと、なずなは、やさしいから。

でも、なずながいきってきたなかで、ゆめはおいかけないほうがいいって、

そのことをわかってたから、あえてげいじつさんに、

げんじつをつきつけることをせずに、げんじつにいきることをつたえたんだ。

それも、なずながやさしいからなんだよ」

ひまくり

「ゆめをおいかけることがだいじってゆくのほ、うそとちがうとおもいます。

なずなずなずさんがいったみたいに、ゆめや、もくひょうがあるから、

せいちょうできるんだと、ひまくりもおもうんです。

でも、なずなずなずさんみたいに、ゆめをよこにおいておいて、

げんじつのためにがんばることもだいじで、

そくゆうことができるひとつっていうのも、

すてきなうって、ひまくりはおもいます。

それと、なずなずなずさんは、げんじつにむかってがんばってるのに、

かんがえかたのちがう、げいじつさんのせなかをおそうとおもった、

そくゆう、なずなずなずなずさん、やさしくなうって、おもいました」

まゆゆゆ

「さっきオレがいった、げいじつのやつが、なんにもどりよくしてねえっていう、

そのことばはまちがってねえって、いまでもおもう。

だが、げんじつをみてねえやつがゆめをもつっていう、

なずのいったことと、オレのいったことは、にたようなことだとおもってるし、

それに、なずがいいやつだってえのは、みとめっぞ」

なずなず

「うん……」

まゆゆゆくんにもうおもうてもらえて、なずなず、うれしいわあ。

すみっこちゃんもありがとお……

それと、ひまありちゃんもありがとお。

やっぱひまありちゃん、だいすきい。だっこさせてえ。ぎゅううう」

ひまくり

「ふげ、はぐがつよすぎて、ぐるじくです」

すみっこ 「ゆめにむかって、がんばればがんばるほど、ゆめのなかからさめたときに、

おちこみのおおきさはおおきい。

だから、ゆめをもつとしないひとたくさんいる。

そして、ゆめをもつときは、おおくのひとがあまいゆめをもつんだ。

でも、もちろん、つらいみちをゆめとしてもって、
それにむかってがんばるひともある。

すみれがおもうには、つらいゆめとちがう、あまいゆめをもつのは、
ゆめをおいかけるのとちがう。げんじつからにげているだけだとおもうんだ。
それと、ゆめをもち、それをおいかけるのがいいことか、わるいことか。

そのこたえは、ひとによって、それぞれなんだよ。

このせかいに、ただしいこたえなんて、どこにもないんだ」

さっくん「ぐがーぐがー、ぱくぱく。あまくておいしーなー、

えにかいたタイヤキー。ぐがーぐがー」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー、おとこのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてるー」

ひまわり「はええ。らぶれたすですか」

さっくん「なになに・・・」。

いま、たんきりゆうがくで、がいこくでまなんでいます。ことばのかげで、
くろうしているものの、まいにち、じゅうじつしています。げいじつより

まゆゆゆ「ほんとにこれでよかったのか、いまでもわからねえ」

なすなす「げいじつさん、じゅうじつしてるっていうてはるし、よかったんやわあ」

ひまわり「はええ、ひまわりたちって、なんのためにいるんでしょから」。

よけなことをいってただけで、いちげんさんを、まよわせてただけかなって、
たまくに、ひまわりのいるいみが、わからなくなります」

すみっこ「ただしいこたえなんて、どこにもないんだ」

[care-cafe : smiley-smile : 08]

「たぶん、げんじつをみてならすすむひととか、げんじつをしらないでいるひとだけが、
ゆめをもって、みつづけられるんとちゃうやるか」

「なすなすなすさんみたいにく、ゆめをよこにおいておいて、
げんじつのためにがんばることもだいじだね」、

そくゆ〜ことができるひとつっていうのも、すてきな〜って、ひまわりはおもいます」

「ゆめをもち、それをおいかけるのがいいことか、わるいことか。

そのこたえは、ひとによって、それぞれなんだよ。

このせかいに、ただしいこたえなんて、どこにもないんだ」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「できましたら、ひまりすぺしゃるごじです。」

かわのぶぶんがおいし〜です〜

なずなず 「なんやこれえ？」

まゆゆゆ 「ほんとにくえんのか？」

ひまわり 「こら〜げん、たっぷりです〜」

すみっこ 「そのざいりよう、ねんだいものの、さくらのグローブ」

みんな 「かわ、ひやくパーセントかよっ!」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「はえ〜、このにもつ、おもたいです〜」

すみっこ 「ひまり、だいじょぶ?かわりにもつね。ガシッ」

ひまわり 「すみっこさん〜、ありがと〜ございます〜」

さっくん 「すみっこさんは、ばかぢからですニャー」

まゆゆゆ 「おいこじっ」

さっくん 「このてつのためを、リンゴみたいに、にぎりつぶせそうですニャー」

まゆゆゆ 「って、おいっ」

すみっこ 「ガシッ。メリメリメリ・・・」

さっくん 「わーすごいー、って・・・ええ?」

すみっこ 「そして、べつのひ」

なずなず 「みんな、きいてえ。」

なかにわで、シューティングスターダストマンのヒーローショーをやったでえ

まゆゆゆ 「んなもんやってやがんのか」

さっくん 「そーよーって、ほんとにむちやながっこーだなー」

ひまわり 「はえ〜、ひまわり、しゅ〜ていんぐすたくだすとまんさんの、

え〜がのよこくへんを、みたことがあります〜」

まゆゆゆ 「えいがかんでか?」

ひまわり 「はい〜、がっこ〜の、え〜がかんでです〜」

なずなず 「えっ、そおよおって、えいがかんまであんのっ!」?

さっくん 「えーがまでとるなんて、ほんとにむちやするなー、あのヒーロー」

なずなず 「そおよおがっこうと、そのきんじよで、ボランティアをいろいろしてるっていう、

そおゆうはなしをきいたことがあるわあ」

さっくん 「そーよーだけの、せいぎのヒーローかー。かっこいいーなー。

そーじとか、せんたくとか、くさむしりとか、にちようだいくとか、

そーゆーボランティアを、そーよーとか、そのちかくで、やってるらしいねー」

まゆゆ 「かなりへんでむちゃでじみだけど、

たしかにその、ボランティアをやってるってのは、ヒーローだといえっぞ

さっくん 「ねーすみっこー。シューティングスターダストマンで、なにものなのー？」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅう。

そうようがっこうと、そのきんじよでかつやくしてる、

せいぎのヒーローということだけ、わかってるよ」

ひまぐり 「はえ〜」

なずなず 「せえとかいの、やくいんのひとが、じつはスーツのなかにはいつてるって、

そおゆう、うわさをきいたことがあるでえ」

さっくん 「めちやめちやだなー。へんしんスーツにきかえるの、たいへんだるーなー」

なずなず 「ヒーローショーに、しよとうかていと、ようちかていの、

おとこのこたちがきてたわあ」

まゆゆ 「にんきもの、てことか」

なずなず 「しよとうかていのおんなのこが、いちばんまえのせきで、

ごっつ、おおごえで、うたをうたってたでえ」

すみっこ 「ごどもたちに、ゆめをあたえてる、りっぱなヒーローなんだね」

ひまぐり 「ひまぐり、しゅくていんぐすたくだすとまんさんの、ぐっずをもってます〜」

みんな 「えっ、なんでっ!?!」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまぐり 「ひまぐりなんかはおもつんです〜。ゆりゆりさんはきつと・・・う、うえっ」

まゆゆ 「おい、ひま、だいじょうぶか？」

ひまぐり 「はい〜。で、きつと、そ〜ゆ〜ときには・・・おえっ、うええっ」

ゆりゆり 「ひまぐりさん、からだのぐあい、わるいんですか？」

ひまぐり 「どんま〜いです〜」

なずなず 「ひまありちゃん、すこし、やすんできいやあ」

ひまぐり 「いえ〜、でも、だいじなとこですし〜・・・がっ、がはっ。がはっげはっ」

みんな 「・・・・・・・・」

すみっこ「・・・純粹すげーなんだ」

「スマイルが、キャッチをまっそもぶえるんだろっ?」

[care-cafe : smiley-smile : 09]

すみっこ 「ひるまはあたたかかったけど、もうゆうがたで、

ゆうひがさして、すずしくなってきたよ、スマイル」

なすなす 「まゆゆゆくん、けんとおしにいったらどう？」

すみっこ 「そだよ」

ひまわり 「まゆゆゆゆゆさんがいなくて、なんだかさびしくもちです。」

あ、おきやくさんです。ひまわり、ここにこ。」

じよし 「ひま。はじめまして」

すみっこ 「しっかりものにみえる、じよしが出てきた」

さつくん 「ひま。こっちははじめましてだよ」

ひまわり 「こむすめさん、こころしくぐぐぐです。どぞぞ」

こむすめ 「ありがとう。ぐび・ブーブーブーッ！」

さつくん 「ごめん、あたりだった？」

こむすめ 「うん、そうみたい。ふきだしてごめん。」

ソーユーグーヌーっていうあじだったよ。しょうゆあじのグーヌー

すみっこ 「ぬれたとこ、そうきんでふいとくね。ふきふき。」

たぶん、コーシーのかわりに、こいくちしょうゆをまぜたみたい」

さつくん 「いろがいつもどーりで、きづかなかったよ」

ひまわり 「はえ〜？」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅう。グーヌーと、しょうばさは、あんがいあう」

さつくん 「ほんとですかいな」

なすなす 「だいじょおぶう？なにか、はなしい？」

こむすめ 「まゆみくん、いま、ぶかついて、ここにきてないよね？」

ひまわり 「はい〜」

こむすめ 「まゆみくんのことで、きいてほしいことがあって」

さつくん 「ニヤハハハハハハ、まゆゆゆのことですかニヤ。まゆゆゆのなにがいの？」

こむすめ 「なににでもいっしょうけんめいで、それに・・・うん、

ふだんはおこりっほいの、ほんとはやさしいところ・・・」

さつくん 「えー？ほんきでいつてんの？」

ひまわり 「はえ〜、まゆゆゆゆゆさんのこと、きちんとみてらっしゃいます〜」

こむすめ 「まゆゆゆゆゆとおなじけんどうぶで、わたし、マネージャーしてるんだ。

それで、まゆゆゆゆゆと知りあって、くわしくなったよ」

なすなす 「おなじぶかつなんやあ、それなら、ほかのひとにくらべてゆづりやるお

ひまわり 「はえ〜、すてにおしりあいどしなの、

お〜きな、あどぼんて〜じだとおもいます〜」

こむすめ 「しりあいだけど、ただおなじぶかつのしりあいってだけで、

わたしのことなんて、なんともおもってないみたい」

なすなす 「まゆゆゆくんの、おんなのこへのきよおみのなさっぷり。あれはちよつとなあ」

さつくん 「まゆゆゆのこと、どーして、いーなーっておもったのー？きっかけはー？」

こむすめ 「うん、それはね、わたしがマネージャーだからっていうことで、

ゆうがたに、けんどうぶのそうこのかたづけを、ひとりでやらされてたんだ。

そのときに、れんしゅうがおわったあとの、まゆゆゆくんがやってきて、

れんしゅうしたあとで、すぐつかれてるはずなのに、

おもいもんはオレがもつから、オメーはときとうなんもつとけ。

って、てつだつてくれたんだ。そのときのこと、いまでもおぼえてる・・・」

ひまくり 「はえ、それでおちたんですね。」

なんだか、せしゅんえくがみたいな、しちゅえくしょんです」

さつくん 「まゆゆゆってば、つみつくりだなー」

なすなす 「なすなすも、そんなんされると、きつと、くらっとくるわあ」

すみっこ 「やさしい」

こむすめ 「スマイルのみなさんからみて、まゆゆゆくんて、どうおもうの？」

さつくん 「まゆゆゆがどーかかー。そだねー。」

せは、まーまーたかいしー、べんきよーは、まーまーできるしー、

けんどーは、まーまーつよいしー、かおは、まーまーびけーだしー。

あれー？けつこうもてるかもー？」

すみっこ 「のうりよくは、へいきんいじょうがおおい」

なすなす 「せいかくも、こむすめさんのゆうとおり、やさしいやんなあ」

さつくん 「えー、まゆゆゆってやさしーのー？きついせーかくだよー」

すみっこ 「すみれも、まゆみのことをやさしいとおもってる」

なすなす 「なすなすも、おもてるでえ」

ひまくり 「いゝかたは、すこしつよいですが、

あいてのひとのことをかんがえてくれます」

さつくん 「んー、そーなのかー。」

でも、タイヤキやけないからなー。りよーりへただからなー」

なすなす 「ひまありちゃんからみて、まゆゆゆくんてどおなん？」

ひまくり 「はえ、すぎですよ」

さつくん 「えー、そーなのー？いがいー」

ひまくり 「はい、ひまくりのつくったおりよりを、いつも、もんくをいわず、

がつがつがつがつがつがつがつがつがつがつがつがつがつ、たべてくれます」

さっくん「って、そーゆーいみかーいー」

すみっこ「そうだろうね」

なずなず「そおゆういみやるおなあ」

こむすめ「さっくんさんは、まゆゆゆくん、どっ？」

さっくん「まゆゆゆとは、ながいあいだのおさななじみすぎて、

さっくんからみても、まゆゆゆからみても、

うーんー、そーゆーかんけいになるうってきになれないよー。

それよりもー、まゆゆゆって、そもそも、おんなのこにきょーみあんのー？」

すみっこ「まったくない」

なずなず「とおもっわ」

こむすめ「そうおもっ」

ひまくり「はえ〜」

すみっこ「れんあいというものに、きょうみをもっていないとおもっよ」

こむすめ「わたしのことにも、きょうみをもってないよ、きっと」

すみっこ「だからまず、れんあいや、こむすめさんに、

きょうみをもたせることがひつようになるよ」

こむすめ「どうすれば、きょうみをもってもらえるんだろう？」

いしきしてもらうきっかけで、なにかいいかんがえないかな？」

さっくん「うううううん。きょーみをもたせるのに、

まったくけんとうがつかないよー・・・。

だったらもう、そのままのきもちをいって、とっげきするー？」

ひまくり「はえ〜、いきなりきもちをつたえても〜、

わりい、オし、そういうのにきょうみねえんだ。

っていわれて、それでおしまいだとおもいます〜」

なずなず「まゆゆゆくんは、もてるために、いろいろどりよくしてるのとちがて、

はかにされないためにやってるし、もちあげてみるのをどおやる？」

こむすめ「まゆゆゆくん、かっこいいね、っていうの？」

すみっこ「それはそのまますぎだとおもっよ。まゆみにかぎったこととちがうけど、

きもちにきづいてもらうために、たとえば、けんどうつよいなだね、

って、ふたりきりのときに、あいてのいいところをいうのがおすすめ。

それとなく、こういをもってることをつたえられて、

こういにきづくかもしれない。

けんどうぶぶぶしで、いってあまりふしげんではないし、

まゆみからすると、ほめられることで、こむすめさんへのいんしょうもよくなる」

さっくん 「まゆゆゆのばーい、あたま、かたいよー。にぶすぎなんだよー。

なにいつてやあんだ？だからなんかようか？けんどうおしえてほしいのか？
で、おわりだよー。

むずかしく、こむすめさんのことをかんがえようとしないうよー。

うっううっうん。きづいてもらうのに、まったくけんとうがつかないよー・・・

なすなす 「なすなすがじっさいに、そおゆう、ほめられて、

かるくきもちを上げられたことがあんねん。

で、ほめられて、やっぱうれしかったし、

それに、あ、このひと、なすなすをよくおもってくれてんのやって、

そういうふうにきづけたで。だから、けっこお、いいてやとおもうわ

さっくん 「なるほどー」

すみっこ 「けいけんしやかたる、だね」

こむすめ 「そっかあ、じゃあ・・・」

ひまくり 「はえ〜、じょ〜ずな、れんあいてくにつくです〜」

こむすめ 「もうひとつ、きいてほしいことがあって。

あのにぶい、まゆゆゆくんのことをかんがえると、くるしい・・・」

すみっこ 「ややこしいひとのことを、おもってるんだね」

なすなす 「あれだけにぶくて、うといと、むずかしいわあ」

ひまくり 「はえ〜、むねをこがす、れんあいえ〜がみたいですよ〜」

すみっこ 「いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした」

ひまくり 「はえ〜、おきやくさんですよ〜」

まゆゆゆ 「ああ、はらへった。ひまつ、んだ、いちげんか？」

こむすめ 「・・・！！」

あ、あのっ！まゆみくん、けんどう、つよいんだねっ！だだだだだっ！

すみっこ 「いったあと、うつむきながら、はしってスマイルをでていく、こむすめ」

まゆゆゆ 「んだあいつ。れなのやつがきてたか。なんのはなしだったんだ？」

すみっこ 「にぶい」

さっくん 「にぶいよー」

なすなす 「にぶいわあ」

ひまくり 「にぶいです〜」

まゆゆゆ 「んだオメーら、にぶいにぶいっていいやがって。あいつ、そんなににぶいのか？」

すみっこ 「ほんと、にぶい」

さっくん 「ほんと、にぶいよー」

なすなす 「ほんま、にぶいわあ」

ひまわり 「ほんと、にぶいです〜」

まゆゆゆ 「んだぞりゃ。ひま、ラーメンもらっぺいいか？」

すみっこ 「きょうはすみれがつくる。ごちよごちよ。はい」

まゆゆゆ 「もらうぞ。がつがつ・・・ブバーーーーーッ！」

すみっこ 「げきからじごくあのよいきラーメン、からさひやくばい。あじはどっ？」

まゆゆゆ 「か、かれえ！いやがらせかってくらいに！みずくれえ！」

すみっこ 「やだ」

まゆゆゆ 「いやがらせかよっ、みず！みずくれっ！」

すみっこ 「いやがらせ」

さっくん 「いやがらせだよー」

なずなず 「いやがらせやわあ」

ひまわり 「いやがらせです〜」

すみっこ 「はい、のみもの」

まゆゆゆ 「ぜーぜー。たすかるぞ。ぐびぐび・・・ブバーーーーーッ！」

すみっこ 「いまあげたの、げきからじごくあのよいきソーグーヌー、

のうしゅくせんばい、だよ」

まゆゆゆ 「んだぞりゃ、まだいやがらせがよっ、みず！みずくれっ！」

すみっこ 「もちろん、いやがらせ」

さっくん 「もちろん、いやがらせだよー」

なずなず 「もちろん、いやがらせやわあ」

ひまわり 「もちろん、いやがらせです〜」

すみっこ 「そして、スっのひ」

さっくん 「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてるー」

ひまわり 「はえ〜。らぶれた〜ですか〜」

さっくん 「なになに・・・」

あきらめないでいたいです。このまえのじよじより」

まゆゆゆ 「いいことかいてやがんな。あきらめっつと、そこでなにもかも、おわっぞ」

さっくん 「んっくに、こんのおとこはああああーーーーっ！」

[care-cafe : smiley-smile : 09]

「お世話になってます。さっくん、あきらめないでいたいです。このまえのじよじより」
「んっくに、こんのおとこはああああーーーーっ！」

それとなく、こういをもってることをつたえられて、こういにきづくかもしれない。
けんどうぶどうしで、いってもあまりふしげんではないし、
まゆゆからすると、ほめられることとべ、こむすめさんへのいんじょうもあくな

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「できました、ひまりすべしやるるくごくです。やきにくきよしくよくです」
まゆゆ 「ベタなまちがいを、さらにいいまちがえてっぞ」

ひまわり 「はえ〜？」

さっくん 「ところで、ざいりよーはー？」

ひまわり 「ひゃくじゅーのおうさまの、らいおんさんです」

みんな 「って、んなもん、どうやって

ちようりできるじようたいにしたんだっ！？」

ひまわり 「しくぶさんの、しくくごやからもらってきました」

みんな 「だから、んなもん、どうやって

ちようりできるじようたいにしたんだっ！？」

ひまわり 「い〜うんど〜になりました」

みんな 「って、たたかったのかよっ！？」

すみっこ 「そして、べつのひ」

まゆゆ 「おい、すみ。なんで、このなまえがスマイリスマイルなんだ？」

すみっこ 「さなえが、えがおをつくりたかったから。みんなにも、じぶんにも」

まゆゆ 「そうだったのか。それと、さなえさんて、どういうひとだったんだ？」

すみっこ 「まじめで、どりよくかで、せきにんかんがあつて、

かんぺきしゅぎで、きくばりのできる、やさしいひと」

ひまわり 「はえ〜、ぱ〜へくとです〜」

さっくん 「りっぱなひとだったんだな〜」

なすなす 「いまのせえとかいちやおが、せえとかいちやおになるまえに、

スマイルをつくつたんやんねえ。

それって、すごいたいへんやつたんとちやうん？」

すみっこ 「すぐたいへんだった。スマイルをはじめるための、

どうぐをあつめるとか、けいひのかくほ、うんえい、

りようりをつくる、がっこうのこうしよう、そのほかのいろいろなこと、

さなえのときに、すみれもいたけど、はじめるためのじゅんびも、うんえいも、

ほとんどなんでも、さなえがひとりやってたんだ」

まゆゆ 「しっかりしたひとだったんだ、さなさん」

すみっこ 「まじめだけに、くるしみもおおきかったみたい。

まじめでせきにんかんがあるぶん、なんでもまじめにかんがえて、

なんでもひとりでかかえこんで、

ひとをすくえなかったときに、くるしんでたんだ」

なずなず 「まじめすぎたんやね。」

それだけに、うまくいかないときのくるしみもおおきかったんや」

すみっこ 「うん」

ひまわり 「すまいるの、りっぱなごしゅじんさんだったんですね。」

ひまわりと、ぜんぜんちがいます。」

すみっこ 「ひまり、どんまいだよ」

さつくん 「さなさんがそつぎようしたの、きよねんだっけー？」

すみっこ 「きよねんそつぎようというか・・・ごによごによ」

ひまわり 「はえ〜？」

まゆゆゆ 「きかねえほうがいいか？」

すみっこ 「そのほうが、すみれはたすかるよ。」

すみれのくちからは、なかなかいいにくいんだ」

なずなず 「じじよおがあったんやね」

すみっこ 「ひとのこころのふれてはいけないところ。」

そのことに、きづくことは、とてみたいへんなことだったみたいなんだ」

ひまわり 「はえ〜、ひまわりに、そんなたいへんな、すまいるのごしゅじんさんなんて、

ほんとうにできるんでしょ〜か〜。ちょっと、じしんなくします〜」

まゆゆゆ 「ひまには、オシたちがいっぞ」

さつくん 「そだよー。みんながいるよー」

なずなず 「そうやでえ、なずなずたちがいるわあ」

すみっこ 「うん、いっしょにわかちあえるひとがいる」

ひまわり 「はえ・・・ひまわり、がんばります〜」

すみっこ」「いつまでもわかりあえないから、ずっと・・・孤独」

「care-cafe」

[care-cafe : smiley-smile : 10]

すみっこ 「どんよりとした、きかはれなくなるてんきのひの、スマイル」
さっくん 「きがめいるなー」

なずなず 「めいるわあ」

まゆゆゆ 「オレにとっちゃ、すずしくて、けんどうをするにはせっこのてんきだぞ」
さっくん 「ソフトボールのれんしゅーがー、おやすみになりそー」

なずなず 「ふふふ。ふたりとも、ぶかつにむいてるてんきがあわへんのやねえ」
さっくん 「そだねー、あわないよー」

まゆゆゆ 「ひにくなもんだ」

ひまより 「ひにくな、おにくっておりより、いま、かんがえました」

みんな 「にくかよっ、よからぬものが、できあがるきがっ!」

まゆゆゆ 「くわされんの、どうせオレだっ!」

ひまより 「はえ〜?」

あ、おきやくさんです。ひまよ、にこここ〜

すみっこ 「どんよりとした、だんしがやってきた」

ひまより 「ふが〜さん、まずはこうし〜ぐ〜ぬ〜を、どろぞろ〜」

ふがー 「いらない」

まゆゆゆ 「ひまっ、いかにもわけありって、かおしてっぞ」

さっくん 「ひまー、どしたのー、くらいよー」

ふがー 「かていないほりよくで、くるしんでるんです。

まいにちまいにち、あばれて、ものをこわして、なぐって・・・」

まゆゆゆ 「ひでえな、んなめにあってんのか」

さっくん 「ひどいよー」

なずなず 「・・・」

ひまより 「はえ〜」

すみっこ 「かていないほりよくをうけるひとたちのための、

いちじてきにみをかくすところがあったとおもっ。

まずは、そういうところ、いってみて」

さっくん 「そーだよー、そーゆーところ、いったほーが、みのためだよー」

まゆゆゆ 「だな。はやめにいっつけ。より、こじれるまえにな」

ふがー 「それが・・・あばれてるのは・・・ぼく、なんだ」

さっくん 「えっ、ど、どひゃ・・・」

まゆゆゆ 「んだとっ」

なずなず 「!」

ひまより 「はえ〜」

すみっこ 「そうなのか」

ふがー 「どうすれば、やめられるでしょうか」

まゆゆ 「あぶねえな、それあ」

なすなす 「そんなの、さっくんたちにいわれてもー。さっくん、どうしようもないよー」

ひまわり 「ほら〜え〜がより、よっほどこわいです〜」

ふがー 「がっこうでいやなことがあると、とにかくやつあたりしたくて、

かぞくにぼうりよくをふるうし、ものにもあたるし、

いえでかってるペットにまで、ぼうりよくをふるってる」

まゆゆ 「まじかよ、さいていだなテメー」

なすなす 「……」

さっくん 「ひどいよー、やめなよー」

ふがー 「でも、やめられなくて」

まゆゆ 「じぶんのいしでやめられっだる！ いますぐそんなことはやめる！

これはテメーのためにいつてんじゃねえ！

テメーのかぞくのためにいつてんだぞっ！」

さっくん 「まゆゆのゆーとーりだよー。いますぐやめなよー」

ふがー 「やめられる、じしん、ない」

まゆゆ 「あぶねえやつだなテメー」

ふがー 「じぶんでも、やつあたりしたさを、おさえきれないんだ」

ひまわり 「はえ〜」

すみっこ 「げんいんをたどっていつて、がっこうでのいやなことというのを入らすことで、

いえにかんじょうをもちこむことが、へるかもしれない」

さっくん 「そーだよー、まず、そっちのげーいんをなくそーよー」

まゆゆ 「やつあたりしたくなる、そのげんいんをつぶせ」

ふがー 「がっこうでのげんいん・・・たくさんあるよ。かぞえきれないくらい」

まゆゆ 「ならもう、オレにはどうしようもねえ」

さっくん 「にんげんだったら、だれでも、

いやなこととか、うまくいかないことをもってるよー。

がまんするとか、ほかのことですっきりさせるとか、

きぶんでんかんでもいいし、とにかく、いろいろやってみてー」

すみっこ 「せんもんのそうだしせつに、いくか、まずは、でんわだけでもしてみて。

せんもんかに、はなしをきいてもらうほうが、かいけつしやすいとおもうよ。

そのあいてはプロだから、はなしもじょうずにするかもしれないし、

はなしをきいてもらうだけでも、きがらくになる」

ふがー「わかった、そうしてみます。じゃあ」

すみっこ「くらいかおで、スマイルをでていく、ふがー」

ひまわり「ふがーさん、またきてくださいね、にここ」

さっくん「きよーは、ほとんど、すくえなかったねー」

すみっこ「すみれたちには、てにおえないことだとおもっ」

さっくん「あんなにおとなしそうなのに、いえでめちやくちやしてるなんてー」

まゆゆゆ「くそっ、ああいうことが、げんじつにおきてやがんだ。

てつきり、つくりごとのせかいのなかだけか、

ほうどうされてるせかいのなかだけだとおもった」

すみっこ「このよのなかというのは、みんながおもってるほど、

ひょうめんにみえてるように、きれいとちがうんだとおもっ。

だから、ふこうなことが、みんなのしらないところで、

つぎつぎにおこってるんだ」

まゆゆゆ「きたないところ、か」

さっくん「さっくん、おちこんだよー。くらいきもちに、こっちもなるよー」

なすなす「うっ……」

すみっこ「なすな、だいじょぶぶ？」

なすなす「うん……」

ひまわり「はえ、なすなさん、だいじょぶですか」

さっくん「なすなす、だいじょぶー？すごく、くるしそーだよー」

すみっこ「いまは、そっとしておいてあげて」

なすなす「うっ……うっ……」

……うっ……うっ……うっ……

……うわああああん！うわああああああん！

あああああっ……」

[care-cafe : smiley-smile : 10]

「かっ……なすなす……うっ……を……つけて……ひとたちのための、

そっ……うっ……、いち……じ……に……き……を……か……く……す……と……こ……ろ……が……あ……っ……た……と……お……も……っ……。

ま……ず……は……、そ……っ……し……う……と……し……、う……っ……し……み……し……」

「だんげんだったら、だれでも、ちやなこととか、うまくいかないことをもってるよー。

がまんするとか、ほかのことですすきりさせるとか、

きぶんでんかんでもいいし、とにか、いろいろやってみてー」

「せんもんのそうだんしせつに、いくか、まずは、でんわだけでもしてみてもいいよ。せんもんかにはなしをきいてもらうほうが、かいけつしやすいとおもうよ。そのあいてはプロだから、はなしもじょうずにするかもしれないし、はなしをきいてもらうだけでも、きがらくになる」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「はえ、すみっことさんのすきなおりより、なんでしょくか？」

すみっこ 「バッテリー」

ひまわり 「はえ、ぼってらおいし〜です〜」

すみっこ 「いきるげんどよりよくだよ」

ひまわり 「はえ、よほど〜おすきななんですね〜。こんどつくります〜」

さっくん 「どーかんがえても、ひまーりがたべておいしいバッテリーとは、

ちがうとおもうよー」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまわり 「はえ、すみっことさんて、なんさいなんですか〜？」

すみっこ 「みんなといっしょ」

さっくん 「んー、そーはみえないよー」

すみっこ 「しつれいだよっ、ぶんぶん」

さっくん 「としが、じゅっさいよりすくない、ちっちゃいこくらいにみえるよー」

すみっこ 「おかしなこといわないでっ。

でも、うまれてこのかた、いっセンチもせがのびていない」

みんな 「まじかよっ!」

さっくん 「あーそっか、そーいえば、すみっこは、るぼ・・・

ぶえっくしー! きよーはさむいなー」

ひまわり 「ひまわりも、さっくんさんも、すみっことさんも、みんながらす〜」

さっくん 「どっひゃー、それはいわないでー」。

え? でも、さっくんは、まだのびてるよー。

それに、だいたいへーきんくらいだよー」

ひまわり 「ひまわり、ちっちゃいってよくいわれます〜」

なずなず 「ひまありちゃんの、そおゆうところも、かわええわあ。だいすきい」

まゆゆゆ 「なずにかんしては、まあまあかいつてとかか」

すみっこ 「すみれとしては、みためを、かいぞうしてほしい」

まゆゆゆ 「みためをかいぞうって、びょういんでの、しゅじゅつでか?」

すみっこ 「こうじょうだよ」

さっくん 「あーそっか、そーいえば、すみっこは、るぼ・・・

はっくしよい! あー、かぜひいたかもー」

すみっこ「そして、べつのひ」

ひまわり「できました〜。ひまりすぺしやるななご〜です〜」

なずなず「なんていうりょおりなん?」

ひまわり「とんかつら〜めんです〜。」

とんこつすーぷのかわりに、とんかつをいれました〜」

さっくん「きょーは、きたいできそー・・・?」

なずなず「まゆゆゆくん、よろしく」

まゆゆゆ「オしかよっ、まあくってみっか。がつがつ。

めずらしいこともあるもんだ。おいしいぞ」

なずなず「で、なんのおにくなん?」

ひまわり「はい、とんです〜」

さっくん「まともだー」

なずなず「とんをあぶらであげたんかあ。ちゃんとしたざいりよお、っこてるう」

すみっこ「このおにく、どこでかつたの?すみれは、ぶたを、しいれていないよ」

さっくん「どきっ」

なずなず「いやなふんいきに、なってきたわあ」

まゆゆゆ「どういうオチなんだ?」

ひまわり「るじうらの、うすぐらい、ぺっとしよっぶさんで、しくれてきました〜」

まゆゆゆ「おいっ、んなあやしいとこでかうなよっ。もう、くっちまったぞっ」

さっくん「でも、ぶたは、ぶただよー」

まゆゆゆ「なら、さくがくえよ」

さっくん「うーん、えんりよするー」

すみっこ「どっいっいきものなの?」

ひまわり「はい、とんはとんでも、ぶたさんとちがつて〜、

あしが、はちほんはえてて〜、めが、さんじゅっこあつて〜、

はねが、にじゅうまいついてて〜、それから、あたまに、の〜みそが〜・・・」

みんな「それって、ほんとにちきゅうのいきものなんだよねっ!」

まゆゆゆ「こんなもんじゃねえにきまってる。らぎてらくいすでの・・・苦しむのは

「ケア、ちねなひとが、ふたりつくるさびす」

[care-cafe : smiley-smile : 11]

すみっこ 「くもってはいないけど、あめがすこしふってる、ふしぎなてんきのひのスマイル」
さっくん 「きつねのよめいりだー」

なずなず 「めずらしいわあ」

まゆゆゆ 「そんなひもあるか。さくに、よめのもらいてがついてほしいぞ」

さっくん 「って、どーゆーいみやねーんー」。

まゆゆゆこそ、もらいてをさがすのをすすめるよー。どひゃひゃひゃひゃひゃ

まゆゆゆ 「おいっ」

ひまーり 「はえ〜、まゆゆゆゆゆさんて、ほんとはおとこのひとなんでしょ〜か〜？」

まゆゆゆ 「ほんとはおとこか、というよりは、ほんとに、おとこだぞ」

さっくん 「まゆゆゆさんては、めがねのおくは、おんなのこみたいな、

びしょーじよのような、かわいらしいような、おかおですからニヤー」

ひまーり 「はえ〜、とゆ〜ことは、ほんとはおんなのひとなんでしょ〜か〜？」

まゆゆゆ 「こんなに、せのでかいおんながいるかっ。はなしをへんなほうにもってくなっ」

さっくん 「けんどーをするより、じよしバレーボールぶを、めざしてほしーですニヤー」

まゆゆゆ 「だから、よけいなこというなっ」

なずなず 「ふふっ、ふふふふふっ。そんなきはしてたでえ」

ひまーり 「はえ〜、やっぱりそっちですか〜」

まゆゆゆ 「おいっ、こらっ」。

そんなにしりたいなら、すみっこのまめちしきしゅうでもみとけっ」

さっくん 「どーかいてありますかニヤー？」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅうには・・・ふっ・・・」

まゆゆゆ 「おいっ、オメーまですっ」

ひまーり 「はえ〜、とゆ〜ことは〜」

なずなず 「やはりっ」

さっくん 「そちらが、ただしーんですニヤー」

まゆゆゆ 「だ、か、ら！おとこだってっ！」

ひまーり 「あ〜、おきやくさんです〜。ひま〜、にこここ〜」

じよし 「えと、こんにちは、ひまです」

すみっこ 「うちきそうな、めがねをかけたじよしがやってきた」

まゆゆゆ 「ひまっ」

なずなず 「ひまあ」

さっくん 「ひまー、なんのはなしなのー？」

ひまーり 「ねこじたさん、こ〜し〜そ〜め〜ん〜です〜、ど〜ぞ〜」

まゆゆゆ 「ずいぶんと、かわったなまえの、そ〜めんだぞ」

ねこじた 「うっ、いただきます・・・ずるずる・・・うっ、うえっ、にがいつひまくり」「えすぷれっそあじです。おいしくでしょくか？」

さっくん 「それは、かおをみればわかるよー」

すみっこ 「さいごまでたべる、ねこじたさん、りっぱだね」

ねこじた 「もらったものだし、ちゃんとたべます」

さっくん 「まゆゆゆみたいだー」

なすなす 「まゆゆゆくんと、きがあいそおですわあ。

それで、なにかおはなしですやるかあ？」

ねこじた 「えと、うち、いま、すきなひとがいるんです」

さっくん 「ニヤハハハハハ、そのてのおはなしですかニヤー。」

ほんに、スマイルには、そーゆーそーだんが、おーく、よせられますニヤー」

まゆゆゆ 「さくの、すきそうなはなしだ」

ねこじた 「それで、えと、すきなひとが、ふたりいてるんです」

さっくん 「どっひゃー、ふたまたですかニヤー。みかけによりませんニヤー」

まゆゆゆ 「さいごまで、はなしをきけっ」

ねこじた 「えと、どちらのひとのことも、まだかたおもいしているところですよ」

なすなす 「ふたりのひとつって、どんなひとなんでしょお？」

ねこじた 「はい。えと、ふたりとも、せんぱいです」

なすなす 「そおなんやあ。としうえって、かっこええですやんねえ」

ひまくり 「そのおふたりどしは、どのよくな、ごかんけくなんでしょくか？」

ねこじた 「えと、ふたりは、おたがいをしらないです」

さっくん 「まゆゆゆも、とししたをねらっちゃえー」

まゆゆゆ 「っせーぞこらっ」

すみっこ 「ふたりをおなじときに、っていうの、くるしいね」

ねこじた 「はい！そうなんです。くるしくて。」

それで、あの、えと、うちのすきなひとつっていうのが、

かたほうは、サッカーぶで、もうかたほうは、バスケットなんです」

さっくん 「どっちもスポーツマンかー」

なすなす 「にたかんじの、ふたりのせんぱいなんですやねえ」

ねこじた 「それが・・・せんせんちがって・・・」

さっくん 「どゆことー？」

ねこじた 「かたほうは、サッカーぶなんですけど・・・、

もうかたほうのせんぱいがバスケットぶで、

バスケットぶのせんぱいが・・・えと・・・う・・・」

なすなす 「いいにくそおやねえ」

ひまわり 「はええ。よほどだいじなことなんですネえ」

さっくん 「ニヤハハハハ、どーゆーことですかニヤー？」

まゆゆゆ 「いいにくいなら、いわなくていいぞ」

ねこじた 「このこと、しんゆうにも、おやにもいえてなくて・・・」

ひまわり 「なら、ここにいるみなさんが、おききます」

なすなす 「ほかのひとにゆうことで、すつきりするかもしれんとおもいます」

さっくん 「どんだん、いーなすってニヤー」

ねこじた 「う・・・やっぱり、いえない・・・」

ひまわり 「バスケぶのせんぱいのしんちよは、なんせんちくらいでしょーか？」

ねこじた 「えっ、えと、ひやくろくじゆう・・・より、ひくいくらいだとおもいます」

まゆゆゆ 「バスケやってるわりに、ずいぶんちっせえな」

ひまわり 「はええ、なすななすさんくらいなたかさでしょーか？」

なすなす 「！・・・そっかあ。わかったわあ」

さっくん 「なるほどニヤー、わかりましたニヤー」

まゆゆゆ 「なにがわかったんだ？」

なすなす 「まゆゆゆくん、きかんとときい」

ひまわり 「はええ、ひまわりもなんとなくわかりました」。

おとなむけの、れんあいええがみたいな、しちゅええしよんです」

まゆゆゆ 「どういうことか、オレにもおしえろよ」

すみっこ 「やほ」

なすなす 「そやでえ、きかんとときい」

さっくん 「なんともいわせなさんニヤー」

すみっこ 「せんさいな、ししゅんきのじぎのおんなのこととして、

そういうきもちは、とくにおかしなことはちがうんだ。

よくあることだよ。ほかに、おなじようなきもちもってるひともおおいよ。

そういうきもちをもつのは、ししゅんきのときだけっていうこともおおいから、

そんなにきにしないでかまわないとおもう。

それに、きつと、ねこじたさんは、せんさいなきもちもってるひとなんだよ。

だから、むしろ、くるしむより、じぶんをほこるくらいにおもうといいよ」

ねこじた 「ほっ、そうなんですか」

なすなす 「そやでえ」

ひまわり 「さっかーほいひとと、ぼすけほいひとだと、どっちのканじのひとを、

いままでに、すきになったかすがおしいでしょーか？」

ねこじた 「えと、サッカーばいひとのほうがおおいです。

バスケットをすきになったのは、いまのいちどだけなんです」

さっくん 「なら、ぜんぜんきにするひつようないよー」

なすなす 「いまだけ、バスケットを、すきになるんやおもいますわあ」

まゆゆ 「オメーら、なんのはなしをしてやあんだ？ぜんぜんついてけねえ」

すみっこ 「たとえばネコたちがいたとして、みんな、さかなをたべるネコだったとする。

そしてそのネコのしゃかいに、おとなになるまでの、ほんのすこしのあいだだけ、さかなも、やさいもおいしくて、どっちも、たべたいとおもうネコがいたとする。でも、ネコのしゃかいで、さかなもやさいも、どっちもたべられるネコが、

さかなとやさいと、どちらもおいしいとおもって、どっちもたべられるのって、まわりから、めずらしがられて、それで、くるしむこともあるかもしれない。

だけど、ほんのすこしだけのあいだ、どっちもたべたいとおもえるという、ふつうのネコよりおおくのことに、きもちをよせられることは、

ながい、じんせいのなかで、ほんのいっしゅんのきらめきのような、

むしろ、しあわせといつていくらいのけいけんだって、すみれはおもうんだ」

なすなす 「なすなすも、すみっこちゃんのいうとおりやおもいますわあ。

そんなすてきなきもちになれるの、いまだけやおもいます」

さっくん 「ふたつもすきになれるんだよー。たのしいことがふえるよー」

ひまわり 「ねこじたさん、すばらしくかんせくを、おもちだとおもいます」

ねこじた 「そうですね、ほんのすこしのあいだの、きらめき・・・」

なすなす 「このきもちがうまくつたわらへんでも、それでも、かまへんのかなって、

なすなすはおもいますわあ。かたおもって、そういうもんやおもうわあ。

それに、ほかのサッカーばいひとをすきでもいて、そちらのひとと、

うまくやっていけるようにしてもいいとおもいます。

そうすることで、しだいに、バスケットをすきになるつよさがへってって、

くるしみもすくなくなるんとちゃうかなっておもいます」

さっくん 「ほかのだれにもいつていないことなら、めずらしがられずにすむよー。

ふたりをおなじとくにいいなっておもっても、そんなの、

ねこじたさんがほかのひとにいつてないんなら、

まわりからなんとおもわれずにすむし、きにしないでいーよー。

かたおもいのきもちをバスケットのせんぱいにいうと、ややこしくなるけど、

むねのおくに、おいとくだけにするといいかもしれないよー。

かたおもいがうまくいかないとか、だれにもいえないことなんて、

あたりまえだとおもうよー」

ねこじた「そっか・・・ほっ、みなさん、ありがとうございました」

ひまくり「ねこじたさん、またきてくださいね、にこにこ」

すみっこ「あんしんしたかおつきで、スマイルからかえっていく、ねこじた」

さっくん「きよーは、ちからになれたな」

なすなす「よかったわあ」

すみっこ「こころほそいきもちを、かるくできた」

ひまくり「こころほそい、いちげんさんが、きよーのおはなしをできたのは、

すまいるというところだったからこそだとおもいます。

すまいるのみなさんで、すごいなうって、おもいました」

なすなす「そやわあ、スマイルのみんなやからできたんやわあ」

さっくん「そーだよー、すごいよー」

すみっこ「みんな、りっぱだとおもう」

まゆゆゆ「オシだけ、さいごまで、なんのはなしか、わからなかった」

さっくん「なすなすも、けっこー、あーゆーきもちをもつんじゃないかな」

ひまーりのこと、かわいがってるよー」

なすなす「ううん、そおゆうきもちとは、だいぶちやうよおなあ」

ひまくり「はえ、すごく、かわいがってくださいます」

さっくん「すみっこのまめちしきしゅうには、

なすなすのもってる、ひまーりへのきもちって、どーかいてあるのー？」

なすなす「きになるわあ、おしえてえ」

すみっこ「すみっこのまめちしきしゅう」。

なすなすは、ひまりのことを・・・ハムスターみたいにおもってる

さっくん「って、しょーどーぶつかーいー」

ひまくり「はえ、ペっとさんみたいなものですか」

なすなす「ほんまやあ、かいてあるとおりのやわあ。

ひまありちゃん、かわいいいいっ。また、きせかえしてあげよおねえ。

ピンクのリボンなんかどお？フリルの、たっくさんついたブラウスもお！」

ひまくり「はえ、もっいっかい、きせかえですか。わかりました」

さっくん「って、すなおにやって、いやがらんのかーいー」

ところで、さっきいつた、まゆゆさんが、

ほんとうは、だんしかじよしか、どっちなのかってゆーのは、

すみっこのまめちしきしゅうには、けっきよく、どーかいてありますかニヤー？

まゆゆさんは、おんなのこさんに、きよーみありませんからニヤー」

ひまくり「はえ、おんなのこさんに、きよーみがないとゆーことは」

なすなす 「きよおみがないとゆうことはあ、やはりい」

さっくん 「きょーみがないとゆうことはー、そちらが、ただしーんですニヤー」

すみっこ 「すみっこのまめちしきしゅうには・・・ふっ・・・」

まゆゆゆ 「だーかーらーっ！おとこだっぺーっ！おとこだっぺーっ！おとこだっぺーっ！」

すみっこ 「そして、べつのひ」

さっくん 「あー、おんなのひとから、スマイルのひとたちあてに、てがみがとどいてるー」

ひまわり 「はええ。らぶれたくですか」

さっくん 「なになに・・・」

ねこじたです。いまでもちよっとくるしいのですが、すこし、ましになりました」

まゆゆゆ 「どういっちはなしかよくわかんねえが、ちっと、ましになったらしい」

ひまわり 「はええ、ちよっとは、ちからになれたんでしょから」

さっくん 「きもちがましになったんだよー。それだけでも、よかったんだよー」

なすなす 「そやわあ、ちからになれたんやわあ」

すみっこ 「ひとのこころの、ふれてはいけない・・・ところ」

まゆゆゆ 「オメーら、なんのはなししてやあんだ？」

[care-cafe : smiley-smile : 11]

「そんなすてきなきもちになれるの、いまだけやおもいます」

「ふたつもすきになれるんだよー。たのしーことがふえるよー」

「すばらしくかんせくを、おもちだとおもいます」

「ほんのすこしだけのあいだ、どっちもたべたいとおもえるという、

ふつうのネ」よりおおくのことに、きもちをよせられることは、

ながい、じんせいのなかで、ほんのいっしゅんのきらめきのような、

むしろ、しあわせとっていいくらいにけいけんだって、すみれはおもった」

すみっこ 「そして、べつのひ」

さっくん 「ひまーりのあしについてる、そのどーぐ、なんなのー？」

まゆゆゆ 「んだそりゃ」

さっくん 「まゆゆゆを、けつとばすちからをつよくするどつぐー？」

まゆゆゆ 「おっ」

ひまーり 「はい、からだがよわってても、ちゃんとあるけるようにする、じじよぐです」

みんな 「……………」

すみっこ 「そして、べつのひ。

すみっこのまめちしきしゅう。ひまりちゃんきせかえぶ、がつくられている

ひまーり 「はえ」

さっくん 「どひゃー、そーなんだー、そんなのつくられてるんだー」

まゆゆゆ 「そうように、んなもんがあんのかよ。ひまのゆるし、とってんのか？」

ひまーり 「はい、おゆるししました」

さっくん 「って、ゆるしたんかーい。ところで、そのふくぶちよーは、だれなのー？」

なすなす 「ふふふふふ。ふっふっふっふっ」

みんな 「やっぱアンタだとおもったよっ！そもそもアンタだいがくいんせいだよっ！」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまーり 「できました。ひまりすべしやるはちごです」

なすなす 「こんどはなんやるお」

ひまーり 「えすかるごさんを、あぶりました」

さっくん 「きよきよ、ざんこくだなー」

まゆゆゆ 「おおかた、じつはそこらの、かたつむりっておちだる」

すみっこ 「というより、それタニシ」

ひまーり 「つぎは、なにをあぶりましょーか」

みんな 「きょうふのものがたりの、はじまりかっ！」

すみっこ 「そして、べつのひ」

ひまーり 「はえ、なんですまいるには、おしよくじするためだけの、

おきやくさんがこないんでしょーか？」

さっくん 「そりゃーやっぱ、ひまーりのりょーりが、とんでもなく、

まず・・・もとい、きょうれ・・・もとい、こせーてきだからだよー。

うん、そーそー。ど、どっひゃっひゃ

ひまーり 「とんでもなくまずもといきょうれもといこせ〜てきなおりょーりですか〜。

よくわからないですが、ほめてもらえてうれし〜です〜」

さっくん 「どっひゃー。おーい、さっくんに、ほめてるきはなさそーだよー」

まゆゆ 「オしあ、くいにきてっぞ」

なすなす 「まゆゆくん、やさしいもんねえ、ふふふっ」

まゆゆ 「んだと？どこがだ？」

なすなす 「ほんとは、なんでスマイルにきてるか、みんなしってるでえ」

まゆゆ 「なにいつてやあんだ？へんなこといいやがって」

すみっこ 「じぶんでじぶんの、ほんとうのきもちにきづいていない、まゆみ」

まゆゆ 「おいこら、かってにかいせつすんな。オメーのやくわりは、てっだいだる

すみっこ 「どんまい」

さっくん 「さっくん、タイヤキたべにきてるよー」

まゆゆ 「んなこと、だれだってわかってっぞ」

すみっこ 「さくらがじぶんでいつてるのは、ほんとのきもち」

なすなす 「なすなすのぼあいは、おないどしくらいのひと、はなしたいからやわあ。

それと、かくせえふくをきたいからやでえ」

さっくん 「だいがくいんせーだけど、おないどしたちと、せーしゅんしたいんだろーな」

すみっこ 「すなおにいう、なすな。でも、ひとをたすけたいというきもちも、つよいよ」

なすなす 「ううん、でも、よく、ほんまにちからになれてんのかなあっておもうでえ」

ひまーり 「ひまーりは〜。

はえ〜、なんですまいるにきてるんでしたっけ〜？」

みんな 「えっ、そんないじなことわすれたっ!？」

さっくん「ほかのひとにたいして・・・踏みにじってきたのかな」

「なつてらじかぬ、その……うづめらむその」

[care-cafe : smiley-smile : 12]

すみっこ 「もう、ゆうがたがおわって、よるになるうとしているときの、スマイル」

ひまわり 「きょうは、もう、へくてんにしましょか」

まゆゆ 「いちんち、ひとがこなかったせいで、べんきようがはかどったぞ」

さっくん 「ぐがーぐがー」

まゆゆ 「さく、おきろっ」

さっくん 「あと、ななひきー」

なずなず 「しあわせそおな、ひよおじよおやわあ」

まゆゆ 「おいおきろ、ひっぱたいてやる。ぺしぺしぺしぺし」

さっくん 「おいしそーな、かおりだー」

まゆゆ 「まだねてやあんな。おいっ、やけたぞっ」

さっくん 「ふがっ！もーできたのー？まちくたびれたよー」

まゆゆ 「またタイヤキのゆめか」

さっくん 「タイヤキどこー？」

まゆゆ 「いっぴきやるから、とつとと、くつとけ。もうへいてんだ」

さっくん 「ありがとー。ぱくぱく。おいしーなー」

ひまわり 「はえく、おきやくさんです」。

こんばんはく、ひまろ、ぐぐぬくさんく、ころしくさんく

グーヌー 「こんばんは、ひまです」

コーシー 「……」

さっくん 「ふああああ。ひまー。どーかしたのー？」

まゆゆ 「ひまっ。げんきねえぞ」

なずなず 「グーヌーさん、そおよおのせいとさんみたいやねえ。

コーシーさんは、べつのがっこうのひとですやるかあ？」

すみっこ 「ふたりのじょしがやってきた。みなれないせいふくをきてる、コーシー」

グーヌー 「コーシーね、よそのがっこうにかよってんの」

さっくん 「なんのよーなのー？」

なずなず 「おもいはなしなんやるおねえ、だいたいわかりますわあ」

グーヌー 「みいさ、いっていいいっ」

コーシー 「……こくっ」

グーヌー 「コーシーね、よそのがっこうで、なんていうかな、

その……いじめられてんの」

さっくん 「ひどいよー」

ひまわり 「ひどいですっ」

まゆゆ 「んだと」

すみっこ「げんいんは、なんなの？」

グーヌー「せがひくい、って」

さっくん「そんなの、いーがかりだよー」

ひまわり「コーシーさんのほろが、ひまわりより、ずーっと、おっきーです」

なすなす「まだまだ、のびるとおもいますわあ」

すみっこ「コーシーさんに、なんら、おちどはないよ」

グーヌー「もう、がっこうにいきたくないんだよね？」

コーシー「・・・こくっ」

すみっこ「がっこうにいけなくても、じゅくでべんきょうするとか、よびごうにかようとか、そういうところでべんきょうをすることはできるし、

ちゅうがっこうや、こようを、もしそつぎょうできなかったとしても、

だいがくや、せんもんがっこうにかようみちはあるよ。

だいがくなら、にんげんかんけいも、うすっぺらくて、

いまのがっこうにかようことで、にんげんかんけいにじしんをなくしても、

だいがくでなら、やりやすいし、やっていけるといえるよ。

おないどのひとと、いっしょにやっていくのがむずかしくても、

それに、がっこうというところがあわないとしても、

しゃかいにできれば、いままでとはちがう、

にんげんかんけいのありかたをつくりあげることになるし、

がっこうがあわなくても、しゃかいでならやっていけるんだ。

それに、せんもんがっこうとちがう、かくしゅがっこうなら、

そういうがっこうでしかくをとって、やっていくというみちもあるんだ。

まだみちはおおくのこされていて、そういうのを、いろいろしらべてほしい

「コーシーさんの、ひととせつするちからにもんだいがあるんとちごて、

なすなす「あいてにもんだいがあるんやとおもいます。」

だから、じぶんをわるくおもわないでほしいです」

さっくん「がっこうで、ぶかつなかで、ぶかつのなかで、ともだちをつくってみるとか、

ほかにも、がっこうのそとで、ともだちをつくってみるのはどーかなー？

がっこうの、いやがらせをうけるしゅーだんのなかだけが、

いるべきところとおもわないですむよー」

ひまわり「こっしーさんには、ぐーぬーさんがいてくださってらっしゃいます」。

そのことをおほえていれば、そつぎょうまで、やりとげられるとおもいます」

まゆゆ「わなわなわな」

さっくん「わなわなわな・・・って?」

まゆゆゆ「っざけやがってえええええっ! いますぐそいつらここつれてこいっ!

ほくとうで、オメーがあじわったのとおなじくるしみあじあわせてやるっ!」

さっくん「どひゃー、きょーの、まゆゆゆは、いままでになく、あついなー」

ひまわり「はえ〜、こんなあつい、まゆゆゆゆさん〜、はじめてみました〜」

まゆゆゆ「オメーに、ひはねえ! わるいのはぜんぶそのカスどもだっ!

じぶんをせめるな! ぜったいにくっするな!

そしてなにがあってもあきらめるな!」

コーシー「・・・!!」

すみっこ「まゆみのいうとおりだと、すみれもおもっ」

なすなす「なすなすも、おもいますわあ」

さっくん「さっくんも、そーおもうよー」

ひまわり「ひまわりも、おもいます〜」

まゆゆゆ「んなカスいカのれんちゅうにきがいくわえられても、

んなやつらあいてにすんなっ!

オメーには、たすけてくれるやつがいるってことをぜってえわすれんな!

オメーはひとりじゃねえんだ! いまここにいるやつらだけじゃねえぞ!

みんながオメーにみかたして、みんながオメーをたすけようとしてんだ!」

グーヌー「まゆゆゆのいうとおりだと、あやなもおもっよ。

あやなもずっ・・・みいさのみかただよ」

コーシー「・・・グスッ・・・」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー、おんなのひとから、まゆゆゆあてに、てがみがとどいてるー」

なすなす「まゆゆゆくん、てがみがとどいてるでえ」

ひまわり「はえ〜。らぶれた〜ですか〜」

さっくん「やぶいてなかをみちやえ、ビリビリビリ。なにになに・・・、

まゆゆゆさんに、おともだちになってほしいです。みいさより」

みんな「ほんとにラブレターだっ!」

[care-cafe : smiley-smile : 12]

「まだみちはおぼへんのじゃだっしっ! そっしっのを、いろいろしらべてほっし」

「オメーに、ひはねえ! わるいのはぜんぶそのカスどもだっ!」

じぶんをせめるな！ぜったいにくつつするな！そしてなにがあってもあきらめるな！」
「んなカスイかのれんちゆうにきがいくわえられても、んなやつらあいてにすんなっ！
いいか、オメーには、たすけてくれるやつがいるってことをぜってえわすれんな！
オメーはひとりじゃねえんだ！ここにいるやつらだけじゃねえぞ！
みんながオメーにみかたして、みんながオメーをたすけようとしてんだ！」

すみっこ「そして、べつのひ。

かちっ

ひまくり「はええ、すみっこさん、なにしたらっしゃるんですか？」

すみっこ「バッテリーたべてる」

ひまくり「きよはなんだか、げんきがなかったですが、おなががすいてたんですね」

すみっこ「うん。エナジーがたりなくなりかかってたから、

そのしょうひりょうを、おさえめにして、かつどうしてたんだ

ひまくり「なら、こんど、ばってらつくります」

すみっこ「もちはこびができるよ、うれしい」

さっくん「あー、さすがのひまーりでも、つくれないとおもいますよー」

すみっこ「そして、べつのひ」

まゆゆ「よくタイヤキをいちどに、にひきもくちにいれられるもんだ」

さっくん「ふもふもふもー。ふもっふー、ふもふー」

まゆゆ「にひきもくしながらしゃべんな」

ひまくり「ひまくりも、くちにたくさんいれられます」。

ために、タコヤキをごにんまえ・・・もしやもしや・・・ぷく」

なすなす「わあ、ハムスターみたいやわあ。やっぱ、かわいいわあ」

さっくん「わーすごいー、って・・・え？」

さっくん「ねー、まゆゆー。けんどーおしえてよー」

まゆゆ「ったるい。けんどうぶにでも、にゆうぶしとけ」

さっくん「えー。けちー」

なすなす「ひまありちゃんの話は、なすなすが、まもるでえ」

ひまくり「はええ。ひまくり、すもぶの、ふくぶちよーさんを、

どひよーぎわで、ぶんなげたことがあります」

さっくん「わーすごいー、って・・・え？」

すみっこ「そして、べつのひ」

さっくん「あー。なにこのノートー」

ひまくり「ほらほらほら。につきみたいです」。

につきみたいなことのほかにも、いろいろかいてあります」

すみっこ 「それ、さなえがかいてた、スマイルのうんえいについだよ」

なずなず 「うわあ、ごっつ、こまかくいるかいてあるわあ」

まゆゆゆ 「オメーら、んなもん、かってにみんな。しゅみわりいぞ」

ひまくり 「はえ〜、し〜れたざいりよ〜、つくったおりよ〜り〜、

ほかにも、どんなひとがいちげんさんでいらっしやったか〜、

ほかにも、すまいるのことが、なんでもかいてあります〜」

さっくん 「こまかーいー」

まゆゆゆ 「だから、かってにみんなって」

なずなず 「ほんまに、かんぺきしゅぎのひとやったんやわあ。きちよおめんやわあ」

すみっこ 「うん、かんぺきにちかいひとだったとおもっよ」

さっくん 「たくさんあるなー。なんさっもー」

ひまくり 「さいごののーとの、さいごのペーじの、さいごにかいてあるもじは〜、
はえ〜、

ひとのこころのふれてはいけない・・・ところ？

そのこと、きづいたから・・・。

って、かいてあります〜」

まゆゆゆ 「すみ、どういいういみなんだ？」

さっくん 「さっぱりわかんないよー」

なずなず 「だいじなことってことは、わかるんやけどお」

すみっこ 「それは、みんなは知らないほうがいいことかもしれない。

でも、いつか、うん、いつか・・・きづくことになる」

ひまくり 「はえ〜っ」

なすなす「ぶりかえってみると、じんせいって・・・惨めだ」

「・・・じつせ・・・だれからも・・・あいさねてへんのやわ」

[care-cafe : smiley-smile : 13]

すみっこ「あめふりのひのスマイル。」

あめだからか、きょうはまだ、いちげんさんはだれもきてない」

さっくん「なずなずさんと、だいがくいんせーの、おとこさんのかんけいって、いまどんなかんじですかニャー？おすすみになってますかニャー？」

なずなず「へんかなし、やでえ」

まゆゆゆ「んだそりゃ」

ひまわり「はええ、けんたいきでしよるか？」

さっくん「おなかよしの、おとこさんと、おすすみになったときに、

おくわしくおきかせておほしいですニャー」

なずなず「わかったわあ」

さっくん「つて、すなおにいうんかーいニャー」

ひまわり「はええ、おうちのかたとく、どこかおでかけするんですか？」

すみっこ「ぜんぜんわかっていない、ひまり」

さっくん「どひゃひゃひゃ。ひまーり、どんまーいー」

まゆゆゆ「おい、さく、あんまへんなこときくな

さっくん「まゆゆゆ、どんまーいー」

まゆゆゆ「おいっ」

さっくん「どひゃひゃ。にしても、なずなずのおうちのひとって、どんなひとなのー？」

なずなず「なずなずを、まあ・・・すてたんやわ」

ひまわり「はええ。ふほくとくきは、いけません」

さっくん「どーゆーじょーか、よくわかんないんだけど、きいてごめん」

なずなず「なずなずなんて・・・、

・・・どうせ・・・だれからも・・・あいされてへんのやわ」

まゆゆゆ「おおバカやるうかテメーはっ！

・・・あいつっていうのは、そんなかんたんにいえるもんじゃねえんだぞっ！

すくなくとも、このじょうれんは、

オメーのことすてようなんてことはおもってねえ。

それに、どんなむかしのことがあったかしらねえが、

だれからも、あいされてないヤツなんて、このよにひとりもいやしねえんだっ！

ただ、テメーが、あいされてることにきづいてないだけだっ！

なずなず「うるさいっ！

あんたはひとになんどもなんどもすてられつづけたことなんてなくせにっ。

バカバカバカバカッ、バカッ、バカッ、バカアアアアッ！

ひまわり「はええ。ひまわりは、なずなずさんのこと、すきですよ」

さっくん「ねー、なすなすー、なきださないでよー」

すみっこ「なすな、どんまい」

まゆゆゆ「・・・わるかった。ちっと、じぶんかってなこと、いいすぎたすみっこ「まゆみ、どんまい」

ひまわり「なすなすなすさん〜、だいじょぶですか〜」
なすなす「かえる。」

みんな、ふんいきわるくしてごめん。まゆゆゆくんもごめん」

すみっこ「かおをぬぐいながら、スマイルをでていく、なすな

さっくん「いつもおだやかな、なすなすがー、あんなにかたするなんてー。

よっほどのことだったんだよー」

まゆゆゆ「オレのいったこと、まちがってたのか？

すくなくともオレは、なすのことを、

なかのいい、おなじじょうれんのやつだとおもってる」

すみっこ「まゆみのいったことは、まちがっていなかったとおもう。

でも、なすなのいいかえたことも、まちがっていなかった。

まゆみのいうことがまちがっていなくて、

なら、なぜ、なすながいいかえたかというと、

つまり、なすなは、まゆみのいうことをしんじたかったけど、

あいっていうのをしんじられなかったから、ああいった。

だけど、なすなも、まゆみも、おたがいを、

れんあいかんじょうでなく、あいしあってる。

だからこそ、なすなは、かんじょうてきにはなっただけど、

かえるまえに、まゆみにあやまった。

あやまったんだよ」

まゆゆゆ「・・・くっ・・・う・・・」

ひまわり「まゆゆゆゆゆさん〜・・・あいされてるんですよ〜」

[care-cafe : smiley-smile : 13]

「だれからも、あーされてならヤツなえて、このよにひとりもいやしねえんだっ！

ただ、テーマが、あーされてることとてきむじらってないだけだっ！」

「・・・あーされてるってすよ〜」

なずなず 「おいしそお」

すみっこ 「ひまり、せいちょうしたね」

ひまくり 「ぎよゝのもの、おいしくとおもいます」

まゆゆゆ 「ならくってみつか。がつがつ。うん、くえなくはないぞ」

さつくん 「ほくほく。ほんとだー」

なずなず 「むぐむぐ。おいしい、ごおかくてんやわあ」

すみっこ 「なんてりょうりなの？」

ひまくり 「やさしいための、きのこそえです」

さつくん 「きのこってゆーのが、きになるな」

まゆゆゆ 「わけわかんねえ、きのこか？」

ひまくり 「まつたけです」

まゆゆゆ 「なんか、ひまに、わりいきがすっぞ。こうきゆうひん、つかってくれたんだ」

さつくん 「ちゃんとしたきのこなんだねー。おいしかったよー」

なずなず 「そこまで、りよおりを、がんばってくれたんやあ。うるうるっ」

ひまくり 「きんじよのやままで、きのこがりにいきました。あしが、がくがくです」

みんな 「ってアンタ、へんなところがんばりすぎだよっ！」

すみっこ 「そして、べつのひ」

なずなず 「ひまありちゃんも、なずなずのつくったクッキーたべてえ」

ひまくり 「はえ」

まゆゆゆ 「がつがつ。うまいぞ。ひさしぶりに、にんげんのとべものをくったかんじだ」

さつくん 「ほくほく。おいしー」

なずなず 「ひまありちゃんにたべてほしくて、がんばってつくってん」

まゆゆゆ 「がつがつ。うまいうまい」

さつくん 「ほくほく。おいしーな。きのう、ねないでつくったらしーよー」

ひまくり 「じゃーいただきます、もしやもしや・・・ごほっごほっ」

なずなず 「ごめん、しんどい？へんなことしてしまっただみたいやわ」

まゆゆゆ 「だいじょうぶか？」

さつくん 「だいじょうぶー？」

ひまくり 「いえ、せつかくいたただいたんですし。もしやもしや・・・がはっ、うええっ」

まゆゆゆ 「あんま、むりすんな」

さつくん 「むりにたべるの、やめときなよー」

なずなず 「ごめん・・・」

すみっこ 「なずな、どんまい」

ひまわり 「ごほっごほっ……どんま〜いです〜」

すみっこ 「そして、べつのは」

ひまわり 「ごはっごはっ、がはっがはっ」

さっくん 「ひまーり、だいじょぶー？」

ひまわり 「げはっげはっげはっ……うえっ、うえええっ」

まゆゆゆ 「おい、ほけんしついくか？びょういんにするか？」

なずなず 「ほんまにしんどそおやでえ」

ひまわり 「いえ、だいじょ……おええええっ」

すみっこ 「そして、べつのは」

ひまわり 「あ、すみっこさんは、どうしておりよろいを、

あまりつくらないんでしょ〜か〜？」

すみっこ 「りょうりが、ひまりのやくめだからだよ」

さっくん 「すみっこのりょーりのほーが、おいしーよー。どひゃひゃひゃひゃひゃ」

まゆゆゆ 「おいっ」

すみっこ 「にんげんは、きつと、

やくめをもってうまれてくるんだと、すみれはおもっ。

そのやくめを、ひまりから、うばいたくないんだ」

まゆゆゆ 「どっういっうことだ？」

なずなず 「うった」

さっくん 「よくわかんないよー」

ひまわり 「はえ……」

な
ず
な
ず
「みんな・・・生まれてこなきゃ、よかったのに」

「みなぎ' んにほ...わかん' なん...んじす」

[care-cafe : smiley-smile : XX]

すみっこ「だれもが、だれにも、いえないんだ・・・悲しみのほんとうを」

「ネのニヤ、キョウタカは・・・」

[care-cafe : smiley-smile : XX++]

すみっこ「ここは、びょういんのびょうしつ。

ひまりが、ベッドのうえで、ねている」

さっくん「ねー、いままで、

さっくんたちがスマイルできてきたことって、なんだったんだろー。

ほんとうに、ひとのちからになれたのかな？

だって、さっきだって、ひまーりをたすけられなかった」

すみっこ「すみれたちは、なにもちからをもたない」

なすなす「ほんまやわ、なんのちからもってへん」

すみっこ「でも、いまこうやって、ひまりのちからになるうとしている。

それでいいんだよ」

まゆゆゆ「それでいいだつ、なにいつてやがるっ！よくねえっ！

おれたちはっ、ひまがっ、このよからきえようとするのをっ、

やめさせられなかったじゃねえかっ！

なんにもできなかつたんだっ、くそっくそっくそっくそっくそっくそっ！

すくえなかつたんだっ・・・すくえなかつた・・・っ」

なすなす「むりよく・・・なんやわ・・・」

すみっこ「にんげんはみんな、ちからをもっていない。

それでもみな、ちからになるうとしてる。

そうすることで、こころをたすけることができる、すみれはおもっ。

さなえは、じぶんや、ほかのひとを、

ほんとうにすくえるとか、すくえたとおもえなかつた。

ほかのひとをほんとうにすくえないということでは、

さなえも、みんなも、このせかいにいるにんげんは、

だれでも、おなじだとおもっ。

でも、ここにいる、スマイルのみんなは、

こころをすくえるというてんで、ちがうとおもっ」

まゆゆゆ「こころをすくうだど？」

なすなす「なすなすたちが、なんのちからもってへんのやとしたら、

なすなすたちには、ひまありちゃんをすくうなんて、むりとちゃうん？」

さっくん「さっくん、おもうんだ。ちからのあるなしなんて、かんけいなんだよー。

ただ、ひとのちからになるうとして、たすけようとする。

それが、いままで、スマイルのみんながやってきたことなんだ。

そーすることで、いろいろなひとたちをほんとうには、すくえないかもしれない。

でも、すみっこのゆーとーり、こころをたすけるのには、やくにたてるんだよー」

まゆゆゆ 「こころをたすけるって、どうやってたすけるっていうんだ？」

なすなす 「ほんまに、そんなことできんのやるか。なすなすには、そんなじしん、ないわ。

さなさんみたいなかんぺきなひとでも、むりやったっていうこと、

そんなん、なすなすなんかに、できるわけあらへん」

すみっこ 「……………」

さっくん 「さなさんが、につきにかいてたこと、ずっとまえから、かんがえてたんだー。

さっくん、おもうんだ。ほんとうにひとをすくうことって、

さなさんみたいな、しっかりしたひとでも、できなかったことかもしれない。

でも、さっくんは、ひまーりを、すくいたいとおもって、それだけでいいんだ。

きつと、こころをすくうためには、さなさんがにつきにかいていたとーり、

ひとのこころのふれてはいけないところ、

そのことにきづくことがひつようなんだよー。

そうすることで、なやみとか、つらさ、かなしさ、いきづらさ、そのほかにも、

ひとがかかえてるくるしみをわかって、じぶんのことのようにおもって、

そして、よりそうこと、すくおうとすることってというのが、だいじなんだよー。

きつとそれが、ひとのためになることをするとき、

ほんとうに、いちばんだいじなことなんだよー。

そうすることが・・・ひとのこころをたすけるといふことなんだ」

すみっこ 「ひまりのこころをすくうことは、いまからでも、おそくない。

もちろん、ふれてはいけないことに、きづくことも。

ひとのこころのふれてはいけないところ。

そのことにきづくことは、ほんとうに、くるしいことだとおもうんだ。

でも、いまの、スマイルのみんなには、それができる」

なすなす 「そやわ、きづくことやわ。

さなさんは、ひとのこころをすくうために、きづくということをしてたんやわ。

そうすることが、ほんまにくるしいことやったとしても、

なすなすは、ひまありちゃんのことをすくいたい。

ひまありちゃんのことにはきづいて、すくうことを、

なすなすたちにもできるはずやで。

なすなすたちには、こころをすくうことしかできんかもしれん。

でも、こころをすくうことなら、できるはずやわ」

まゆゆゆ 「オしたちにも、きづくことも、こころをすくうこともできる。

すみのいうように、ちからをもっていなかったとしてもだ。

くるしくても、なんとしても、ひまのことをすくってみせる」

さっくん「ひまーりと、みんなとは、なかよしどうしなんだよ。

だから、スマイルのみんなはきつと、

ひまーりのこころのふれてはいけないところに、きづくことができるよー。
・・・ううん、そうとちがうんだ。

みんなもう、ひまーりのこころのふれてはいけないところにきづいてる。
そしてもう、すくおうとしてるんだ。

さっくん、そーおもうんだー」

ひまーり「は・・・え・・・」

なすなす「ひまありちゃん、おきてたん」

まゆゆゆ「オレたちのはなし、ずっときいてたのか」

さっくん「むりしてしゃべらないでー」

ひまーり「はえ・・・いま・・・ひま・・・り・・・おもった、んです・・・。

ひま、りの、から、だ・・・の・・・くるしさ・・・

それ、をす、まいる・・・で・・・なおす・・・という・・・のは・・・
できない・・・です・・・ごほっごほっ。ごほっごほっごほっ。

でも・・・みなさんのおか・・・げ、で・・・。

ひま、りは・・・と、ても・・・しあわせ・・・で・・・した・・・」

さっくん「しあわせ、だったのー？」

なすなす「しあわせになれたん・・・？」

なすなすたちは、すくえなかつたんとちやう・・・？」

ひまーり「びょうきが・・・これから、さき、なおらない・・・て、わかってて・・・

ごほっ、・・・きょう、・・・こんな、こと・・・
してしまい・・・ま・・・した・・・。

で、も・・・ほんとは・・・いままで

・・・ずっと・・・しあわせ、でした・・・。

すまいるにきて・・・から・・・ず・・・と・・・しあわ、せ・・・です・・・。
ごほっごほっ、そ、の・・・こと・・・きづい・・・たん・・・です・・・。」

なすなす「うん」

まゆゆゆ「びょうきだったとしても、か？」

ひまーり「は、い・・・」。

みなさ、ん・・・ひま・・・り・・・の、こころを・・・
・・・たすけてくれま・・・した・・・。

ひま、りだけ、と・・・ちがって・・・

・・・ほかのいるいるな・・・ひと、の、ことも・・・。

ほん、と……は……ひまりの……こと……も……ごほつごほつ、はじめ……て、あったと……きから、きづい、て、く……れ、て……ひ、まり、は……その、こと、きづい、たん、です……。だから……もう……びょうき……の、こと、で……く、るしい……けど……、いま、みな、さ……んがいて……くれて、し……あわせ……で、もう……こんな……、いのちを……すてる……なん、て……こと……しません……。ごほつごほつ。

それ……で、おも、った……んです……これから……さき……、どんな……ことがあ、て、も……、だれのま……え、でも……、ずっと……「えがおでいよう」って……。「
まゆゆゆ「そうか……。オレも、ひまのこと、ずっときづいてた。それなのに、ひまをすくえなくて、すまねえ。わりい。ゆるしてくれ。ひまのことをたすけることができなかつたこと、もうしわけないとおもってる。でも、たすけようとずつとしてたんだ。そのこと、つたえたい」

さつくん「ひまーりのこと、ちゃんとわかるうとした。わかるうとしたんだ。

なすなす「しあわせ……えがおでいる……、よかつた……よかつた……よかつた……」

ひまくり「けが……が……よくな、て……から……ごほつごほつ……また……みなさ、ん……に……おりようり……つくります……。い、ま……ぼろぼると……ないて、ま、すけ……ど……。おりようりの……と……き、は……いま、ま、でのよ……うに……、ちゃんと、えがお……で……。「だっ……」

まゆゆゆ「つはは。ああ、またミソカツつくってくれ。このまえ、くいそびれたんだ」

さつくん「ぐすつ、ぐすつ、えへへ。あつためてない、カチカチのタイヤキもねー」

なすなす「えっぐ……ひっく……うん、うん……コーシーグーヌもつくってやあすみっこ「ひまりのこころのふれてはいけない……ところ。」

ひまくり「……は……え……、みな……さ、ん……の、こと……わす、れ、ま、せん……。このさき……ひ、ま……り、が……どうな……ても……。……あ……り……が……と……う……」

……

すみっこ「そして、べつのひ。

いりぐちから、からりんからりんというチャイムと、ドアがあくおとがした」
さっくん「あー、いちげんさんだー。ひまー」

まゆゆゆ「ひまっ。んだ、かったりいな。なんのようだ？」

なすなす「ひまあ。なにか、はなしたいことあるんですやるかあ？」

さなさん「こんにちは、わたし、さなさんっていいいます」

すみっこ「さなえ、がっこうに、かえってきたんだね」

さなさん「うん。しゅじんがずっといなかっただよね。これなくてごめんなさい」

まゆゆゆ「アンタが、さなさんか。しゅじんなら、いるぞ」

さなさん「え？どういうこと？」

さっくん「さなさんのつぎのごしゅじんさん、いるよー」

なすなす「そおやでえ。うん、いますわあ」

さなさん「そうなんだね。」

わたしがいないあいだの、いまのごしゅじんさんて、どんなひとなの・・・？

まゆゆゆ「どんなひとかか」

さっくん「うんー」

なすなす「そやね」

すみっこ「たとえていうなら・・・」

まゆゆゆ「いつもえがおで・・・」

なすなす「えがおがすてきな・・・」

さっくん「みんなをえがおにする・・・」

みんな「ひまわりみたいいなひとー！」

[care-cafe : smiley-smile]

ひまわり「みなさんには、ずっと、どんなことがあっても・・・笑顔でいてほしいです」